

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和3年1月5日	
工事番号	下第105号	
工 種	土木	
工 事 名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地区管布設その4工事	
施工場所	小矢部市 胡麻島 地内	
工事完成期限	令和3年 3月29日	
工事概要	延長 22.00m 管布設延長（開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150 9.90m、 推進工法 硬質塩ビ管 φ150 10.30m）20.20m 1号マンホール 2箇所 付帯工 一式	
予定価格	8,165,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は 営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価 値	・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の土木工事において、A等級、B等級又はC等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年1月8日 から 令和3年1月18日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年1月20日 9時33分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年1月13日	
質問に対する回答期限	令和3年1月15日	

工種	下水道工事(2)	工事番号	下第 105 号	設計年月日	令和 2 年 12月
工事箇所	小矢部市 胡麻島 地内				
令和 2 年度					
小矢部市特定環境保全公共下水道					
胡麻島地区管布設その4工事					
小 矢 部 市					
建設リサイクル法対象工事					
請負金額		工期	令和 3 年 1 月 2 1 日		
			令和 3 年 3 月 2 9 日		

< 理 由 >

本工事は、汚水管の整備を図り、民生の安定と生活基盤の強化に寄与するものである。

< 概 要 >

○延 長	2 2 . 0 0 m
○管布設延長	2 0 . 2 0 m
開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ 150	9 . 9 0 m
推進工法 硬質塩ビ管 φ 150	1 0 . 3 0 m
○ 1 号マンホール	2 箇所
○附 帯 工	1 式

特記仕様書

工事名：小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地区管布設その4工事

(一般関係)

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和2年10月」第1編共通編1-1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、特記仕様書及び共通仕様書その他、これに付随する関係基準図書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 安全教育・訓練の実施

- 1 労働安全衛生法等に基づき日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、「安全教育・訓練等の実施要領」により、月当たり半日以上頻度で実施するものとする。
- 2 実施項目について「土木工事共通仕様書」第1-1-5条施工計画書の記載事項として「(4)安全管理」に含め、「安全教育・訓練の実施要領」の様式-1により工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。
- 3 安全・訓練等の実施については、「安全教育・訓練等の実施要領」の様式-2により安全教育・訓練等の実施毎に記録写真等を撮影し、監督員及び検査員の請求があった場合は直ちに提示しなければならない。

第3条 工事実施前の措置及び事前事後調査

- 1 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
- 2 請負者は、あらかじめ沿道(周辺も含む)構造物等について事前調査を行い、善良な管理義務を怠ったことにより、物件に被害が認められた場合は、請負者が責任を持って処理するものとする。

第4条 測量

- 1 請負者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
- 2 仮B・Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
- 3 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、監督員と協議すること。

第5条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地産品を優先使用するものとする。

第6条 アスファルト混合物

- 1 請負者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 請負者は、上記により難しいときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物(バージン材)を使用してもよい。

第7条 コンクリート配合（使用の場合）

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スレン [°] (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	65以下	—	BB	マンホールインハート

高炉セメントを使用したコンクリートは初期養生に留意する。

第8条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第7条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第9条 下請け関係の適正化

本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請け関係の適正化に関する留意事項（共通仕様書）」を遵守すること。

平成25年度より、施工体制の明確化、契約約款との整合のため、建設工事における下請負契約は、契約金額にかかわらず下請負届を書面で届出するものとする。

また、平成27年度より、下請企業と建設労働者との関係を正しく認識するため、施工体制台帳、再下請通知書・作業員名簿を下請負届に添付して届出するものとする。

第10条 産業廃棄物の適正処分

本工事から発生する産業廃棄物の処分は、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理しなければならない。

第11条 低入札となった場合における技術者の増員等

1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもっと入札した業者が請負者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

（1）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、請負者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

（2）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

（工程関係）

第12条 工程関係

1 工事により通行止めとなる場合、出入りに支障が出る関係者へ工事期間等の説明と協議を行い、要望があった場合は出来る限り対応すること。

第 13 条 公害防止

土砂の搬出等による公道等の路面汚損防止のため、路面が汚れた場合は、直ちに路面清掃を行うものとする。

(安全対策関係)

第 14 条 事故報告及び応急措置

- 1 請負者は、工事中事故があったときは、直ちに所定の措置を講ずるとともに、監督員に通報し、事故発生の原因、経過、事故による被害内容及び今後の対策を講じた事故報告書を提出すること。
- 2 請負者は、施工管理上の落ち度により第三者にあたえた被害について、請負者の負担により、措置を講ずるとともに、その内容を監督員に報告すること。

第 15 条 安全対策

- 1 請負者は、工事期間中、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。

交通誘導員の有無	配置人数		時間帯	期間	備考
無	A 0人	B 4人	8 : 00～17 : 00	7日	

※ 交通誘導員の算定には「土木工事標準積算基準書（共通編）富山県土木部」【第Ⅰ編第12章その他】における「作業日当り標準作業量」に基づき定めたものであり、「作業日当り標準作業量」に満たない場合における交通誘導員の変更は認めない。

但し、明示した条件に変更が生じた場合は変更理由を明確にし、変更の協議を行うものとする。

【条件変更例】

- ①工事区間、箇所、工期及び設計数量が変更になった場合。
 - ②工事中止命令等により、臨時の措置が必要となった場合。
 - ③地元打合せ、警察協議等で条件を付された場合。
 - ④施工方法による大幅な変更があった場合。
- 2 請負者は、機械器具、不要土砂等を交通及び保安上の障害とならないように使用のつど整備し、又は、現場外へ搬出し、工事現場内は常に整頓しておくこと。
 - 3 市道部において路盤で交通解放する場合は、舗装完了まで常に点検し補足材にて補修すること。
 - 4 国道及び県道においては路盤のまま交通解放は行わないこと。舗装仮復旧後の交通解放を厳守のこと。

(工事用道路関係)

第 16 条 工事用道路関係

- 1 運搬路に使用する道路は破損防止のために出来る限り養生等を行うこと。舗装等の補修が必要になった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(建設発生土・建設副産物関係)

第 17 条 建設発生土

建設発生土については、一部埋戻しに流用するものとし、その他は片道運搬距離 2.8km の小矢部市名畑地内の公共残土仮置場へ搬出するものとする。

搬出先は積算上の明示条件であり、請負者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第 18 条 建設副産物（建設リサイクル法の対象の工事）

- 1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 請負者は、建設リサイクル法 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類
 - ・工事着手時期及び工程の概要
 - ・分別解体の概要
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み
- 3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
工程 ごと の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	① 仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 舗装構造物撤去	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	—
アスファルト塊	1.5m3
建設発生木材	—

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破砕するものとする。

- 4 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成 14 年 6 月）に定めた様式 1、「再生資源利用計画書（実施書）」及び様式 2「再生資源利用促進計画書（実施書）」を兼ねるものとする。
- ・再資源化が完了した年月日
 - ・再資源化をした施設の名称及び所在地
 - ・再資源化に要した費用
- 5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 19 条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別暫定品質基準（案）」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
管布設工	RC-40	管路基礎
舗装工	RC-40	下層路盤

（工事支障物件等）

第 20 条 工事用支障物件

- 1 工事中障害物件が発見された場合、監督員に報告し、管理者と監督者と三者で協議し、移設、切回し、又は、防護を行うこと。
- 2 監督員への報告、関係機関への連絡及び立ち会いを怠り、障害物件を処理したときに生じた損害については全て請負者の負担とする。

（材料）

第 21 条 リサイクル認定製品の利用

本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において先行利用グループに区分されている製品を利用する。なお、材料承認願いに「自主検査・検査証明書」を添付すること。

下水協Ⅱ類規格製品のリサイクル三層硬質塩ビ管・ます及びふたを使用してもよい。

工 種	品目（名称）	規 格	製品名
組立マンホール	下水道用組立マンホール	内径900	エコ ユニホール スレンダ ハイブリッドホール プレホール K-TIKホール

※ 公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針に基づくグループ区分一覧は、富山県ホームページを参照すること。

URL：http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/kj00004091.html

第 22 条 マンホール蓋

- 1 マンホール蓋は、進入水防止構造（防水型）・不法投棄防止構造で関係担当以外はやさしく開蓋出来ない構造となっていること。
- 2 構造等は、日本グランドマンホール工業会規格及び小矢部市グラウンドマンホール性能仕様と同等以上のものとする。
- 3 マンホール蓋のデザイン（小矢部市型）は別添図面の通りとする。

（施工関係）

第 23 条 公共柵及び取付管設置について

公共柵及び取付管の設置位置については、地権者と協議を行ってから施工すること。

第 24 条 埋戻し土の締固め密度

- 1 人力施工（タンパ及び振動ローラー）で行う下層路盤の 1 層仕上がり厚は 15 cm 以下、流用土路体部の 1 層仕上がり厚は 20 cm 以下とすること。
- 2 下水道施設の地震時の液状化対策として、施工箇所の地下水位が常時あるいは一時的に高くなる場所においては、埋戻し土の締固め度を 90 % 以上確保するものとする。
- 3 試験箇所はおおむね 100 m に 1 箇所の頻度で路体、路床、路盤、表層の密度を測定することを標準とし、それによりがたい場合は監督員と協議すること。
- 4 密度試験は、路体部、路床部において、深さ方向に層の上部と下部で各 1 箇所実施すること。
- 5 県道占用工事の場合、着工前と完成の対比、巻き出し全層における「転圧状況及び検測」ならびに埋戻し材料毎の「現場密度試験」の写真を工事写真帳と別に整理して 2 部提出すること。なお、これらの写真がない場合、道路管理者から、転圧、密度試験をやり直す命令が出る場合があるので、留意すること。

第 25 条 工事現場における表示施設（工事看板）

- 1 平成 24 年 6 月 6 日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。
- 2 看板配置図、保安施設図、歩道迂回路図は交通安全計画に記載すること。なお、現地設置後、発注者側より追加及び是正指示があった場合は、速やかに対応すること。

第 26 条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

（その他）

第 27 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

提出書類について（補足事項）

○通行制限

- ・市道においては請負者自ら小矢部市都市建設課へ申請のこと。
- ・国・県道においては上下水道課からの申請となるので、位置図、安全施設（看板）配置図、交通規制図、安全対策を 6 部提出のこと。
（交通規制図は、各々の現場と整合したものとし、バリケード、交通誘導員、工事用信号機停止看板、保安等、チューブライトを明記すること。）

○工事材料使用願

- ・製品ごとの日付、あて先は記入のうえ提出すること。

○施工計画書

- ・記入項目は共通仕様書 1-1-5 条を参照。
出来形管理、品質管理は必要測定項目を挙げること。
（富山県土木工事施工管理基準に準じる。）
本工事に携わる作業主任者（有資格者）を明記すること。
- ・監督員と打合せの上、段階確認計画を記入のこと。
舗装コアーの確認は段階確認で行い、直ちに埋めること。
- ・施工計画書の記載内容に重要な変更が生じた場合はその都度該当工事に着手する前に変更施工計画書を提出のこと。
- ・請負代金 200 万円未満の場合、施工計画書は提出不要。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。
- ・請負代金 1000 万円未満の場合は施工計画書の項目（1、2 及び 9、10）を省略できる。ただし監督員から請求があった場合は速やかに提示のこと。

○打合せ簿（その都度）

- ・設計図面と異なる場合の協議は、平面・縦断図・横断図に赤書きし、その他写真・資料等を添付してわかりやすくすること。

○完成時の提出書類

- ・平成 18 年 3 月 22 日付小検第 12 号「工事請負完成検査及び業務委託完了検査の必要書類について」を参照
 - ・出来形管理図について
施工延長（全体、管種、口径別）、管布設延長（管種、口径別）、マンホール設置個数（規格別）、公共柵設置個数の総括表を記載のこと。
公共柵及び取付管出来形管理図には、支管設置位置（上流マンホール芯からの延長）、取付管布設延長（水平、築造延長）を記載のこと。
 - ・カメラ調査報告書
 - ・公共柵設置確認書
- ※管理図は A 4、A 3 サイズとする。

小矢部市下水道工事現場写真撮影基準

工種区分	撮影事項	撮影頻度	撮影要領（内容・留意事項）
全景	工事着手前	施工前後に路線ごと	・施工前後を同一箇所で同一方向から比較できること。 ・起終点（各マンホール芯）にはポール等を立てるなど明示する。 ・管路施設においては路線ごと。 ・終点が明白でない場合は、終点側からも撮影する。
	工事竣工時		
試験掘り その他	試験掘り状況	箇所ごと	・試掘地先、種類、深度、管種、管径等を黒板に明示する。
	家屋調査	主要な箇所	・工事影響範囲に入ると推定される家屋その他工作物の事前・事後調査写真で対比できること。
舗装取り壊し	舗装切断 舗装取り壊し	舗装種別または1 路線1箇所	・カッター作業、舗装取り壊し状況、幅、厚さがわかること。
掘削	掘削状況	マンホール間で1 枚以上	・作業員、使用掘削機等の状況が同時に確認できること。
埋戻し	埋戻し状況 転圧状況	マンホール間で1 枚以上	・層厚及び転圧状況が確認できること。 ・転圧完了状況の全景を撮影する。 ・路床、路体また材料ごとに1枚程度の撮影とする。
残土処理	搬入前	主要な箇所	・土場が搬入前で全景が把握できること。
	運搬作業	主要な箇所	・運搬機種積込機種の状況が確認できること。
	搬入後	主要な箇所	・土場が搬入後で全景が搬入前と対比できること。 ・必要に応じて土量が確認できようにすること。
廃材処理 (As,Co)	運搬作業	主要な箇所	・運搬機種積込機種の状況が確認できること。
基礎工	基礎状況	マンホール間で1 枚以上	・人力の転圧状況・基礎材の投入方法が確認できること。
	基礎寸法	マンホール間で1 枚以上	・深さ、幅寸法を確認できること。
布設工	布設状況 布設完了	マンホール間で原則3箇所程度	・一連番号をペイントし布設状況が確認できること。（排水方向を管に「矢印」で記入） ・布設完了後の全景写真も撮影すること。
	マンホール接続状況	1カ所に1枚以上	・マンホールとの接続状況が確認できること。

マンホール 設置工	基礎状況 設置状況	1 箇所 1 枚以上	・基礎転圧作業後の厚さ・幅寸法が確認できること。 ・目地シール、可とう継手の設置状況が確認できること
	副管設置状況	1 箇所 1 枚以上	・配管接続完了及び出来高寸法が確認できること。
汚水桝、取 付管設置工	設置状況	1 箇所 1 枚以上	・汚水桝、立管、取付管、継手、曲管、支管等の設置完了状況が確認できること。 ・布設完了後の全景写真も撮影すること。
路盤工	施工状況	マンホール間で 1 枚以上	・各路盤厚さ、幅寸法及び転圧状況が確認できること。 ・転圧完了後の全景を撮影すること。
舗装工	施工状況	マンホール間で 1 枚以上	・舗装厚さ、幅寸法及び舗設、転圧、乳剤散布状況が確認できること。
仮設工	土留材寸法	1 箇所 1 枚以上	・使用材料の寸法。
	土留設置撤去状況	1 箇所 1 枚以上	・機械、人員配置がわかること。
	水替状況	主要な箇所	・ポンプの口径・台数・釜場を確認できること。
	排水状況	主要な箇所	・沈殿槽、排水先が確認できること。
	工事標識	主要な箇所	・各種標識類設置状況・保安設備・交通規制実施状況がわかること。
	安全施設 夜間照明	1 路線 1 枚以上	・休日、夜間の保安状況も確認できること。
	現場事務所、便所	1 箇所 1 枚以上	・設置状況がわかること。

◎ 注意事項

- ・ 撮影の目的を理解し、目的に合った写真を撮影すること。また、遠景・近景を取り入れ背景、構図や撮影方法を工夫すること。
- ・ そもそも下水道工事であり、下水道施設（本管、取付管、マンホール等）の撮影に重点を置くものとする。特に不可視部で、不明水浸入等の原因となりやすい接続部については部分写真等で細部がわかる撮影を心がける。
- ・ 土工事等（掘削、埋戻し、舗装等）について、施工管理や出来高管理を基準通りに行なうことは当然であるが、いたずらに写真の枚数を増やす必要はない。
- ・ 不可視部の出来形が写真で明確に判断できるように撮影すること。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 適用単価 適用単価地区 単価適用年月日 諸経費体系	0001 建設課 実施設計書 当初 0 1 実施単価 07 砺波地区 0-02. 12. 15(0) 1 公共		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10		

本工事費内訳表

頁 0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
管路(本管)										Y1A01	
管路施設材料費及び管布設工										Y2A0101	
	リブ付硬質塩化ビニル管設置工 市場単価方式 呼び径 150mm									S6992 0 A=1, B=2, C=1, D=1 施工 第0-0001号表	
		10		m							
	リブ管用マンホール用可とう継手 φ150 PRP φ150 拡張バンドタイプ									T94140 0	
		2		個							
	硬質塩化ビニール管 150mm× 5.1mm×4000mm									T9951 0	
		3		本							
	マンホール用可とう継手 VU φ150 VU φ150 拡張バンドタイプ									T94146 0	
		2		個							
土工										Y2A0101	
	バックホウ床掘 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満									SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1 施工 第0-0002号表	
		10		m3							

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	機械掘削（バックホウ） バックホウ クレーン1次排対									S6801 0 A=4, B=1	
		28		m3						施工 第0-0003号表	
	機械投入埋戻工（流用土路体） 流用土									S6807 0 A=4, B=4	
		30		m3						施工 第0-0004号表	
	機械投入埋戻工（碎石路床） 再生碎石 RC-40									S6807 0 A=4, B=2, C=1.2	
		2		m3						施工 第0-0006号表	
碎石基礎工										Y3A010101	
		3		m3						工種 第0001号表	
残土処理										Y3A010101	
	ダンプトラック運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=5	
		5		m3						施工 第0-0008号表	
処分費等										#0044 A=1, B=1, C=4	
	公共用残土仮置場（搬入）名畑									TST18 0	
		5		m3							
推進工										Y2999	

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
圧入式鋼管推進工										Y3999	
推進用鋼管										V8000	0
		1			式					施工	第0-0009号表
推進工 φ 450										V8001	0
		9			m					施工	第0-0010号表
サヤ管内排土、ズリ出工 φ 450										V8002	0
		9			m					施工	第0-0011号表
スパーサ 塩ビ管用										W0001	
		6			個						
塩ビ管挿入工 φ 150										V8003	0
		9			m					施工	第0-0012号表
中込注入工 φ 450										V8004	0
		1			m3					施工	第0-0013号表
推進設備工 φ 450										V8005	0
		1			回					施工	第0-0016号表
鏡切工 鋼矢板 II 型 φ 450										V8006	0
		1			箇所					施工	第0-0017号表

本工事費内訳表

頁 0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	中込注入設備工									V8007	0
		1			箇所					施工	第0-0019号表
	到達処理工									V8009	0
		1			箇所					施工	第0-0020号表
薬液注入工										Y3999	
	二重管ストレーナ工法									W0001	
		4			本						
	注入設備据付・解体 二重管ストレーナ工法 2セット									S6836	0
		1			現場					施工	第0-0021号表
立抗（舗装取壊工）										Y3A010101	
	舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版									SP4028	0
		11			m					A=1, B=1, E=1	施工 第0-0022号表
	舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装 アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027	0
		7			m2					A=1, B=1, C=1, D=4, F=1	施工 第0-0023号表
	ダンプトラック運搬 舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)									SP2081	0
		0.7			m3					A=2, B=4, C=1, J=3	施工 第0-0024号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬						S5099 0 A=1, B=0. 1, C=11, E=20, F=1, G=1
	1		式			施工 第0-0025号表
* 処分費等 *						#0044 A=1, B=1, C=4
アスファルト廃材処理費						TAK96 0
	0. 7		m3			
As舗装切断排水						TAC09 0
	0. 04		t			
立坑（土留工）						Y3A010101
建込簡易土留工 建込工						S6821 0 A=4. 5
	3		m			施工 第0-0026号表
建込簡易土留工 引抜工						S6822 0 A=4. 5, B=0
	3		m			施工 第0-0027号表
鋼矢板賃料 軽量鋼矢板 II 型・III 型 使用回数 1回						S9720 0 A=4, D=1, E=2
	0. 7		t			施工 第0-0029号表
鋼矢板賃料（一部撤去） 軽量鋼矢板 II 型・III 型 使用回数 1回						S9720 0 A=4, D=1, E=1, G=1
	0. 2		t			施工 第0-0030号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0007

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	H形鋼賃料					S9721 0
	H形鋼（山留主部材）H-250 使用回数 1回					A=6, E=1, F=2
立杭（土工）		0.06	t			施工 第0-0031号表
						Y3A010101
	立坑予掘工					SP2010 0
	土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満	6	m3			A=1, B=2, C=1, D=1 施工 第0-0032号表
	立坑掘削工					S6801 0
	バックホウ クレーン1次排対	23	m3			A=4, B=1 施工 第0-0033号表
	基面整正					SP2012 0
		7	m2			施工 第0-0034号表
	機械投入埋戻工					S6807 0
	再生砕石 R C - 40	0.6	m3			A=4, B=2, C=1.2 施工 第0-0035号表
	機械投入埋戻工（流用土路体）					S6807 0
	流用土	12	m3			A=4, B=4 施工 第0-0004号表
	機械投入埋戻工（砕石路床）					S6807 0
	再生砕石 R C - 40	6	m3			A=4, B=2, C=1.2 施工 第0-0006号表
	ダンプトラック運搬					SP2002 0
	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	15	m3			A=1, B=3, C=1, D=1, I=5 施工 第0-0008号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0008

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
* 処分費等 *										#0044	
										A=1, B=1, C=4	
	公共用残土仮置場（搬入）名畑									TST18	0
		15		m3							
立杭（舗装工）										Y3A010101	
	上層路盤工（人力施工）路盤厚27cm 路盤厚27cm 車道									S4015	0
		7		m2						A=2, B=27, C=4	
	下層路盤工（人力施工）路盤厚35cm 路盤厚35cm 車道									施工 第0-0036号表	
		7		m2						S4015	0
土留工										A=2, B=35, C=5	
										施工 第0-0037号表	
軽量鋼矢板設置（H=4.0m）										Y2A0101	
	軽量鋼矢板建込工									S6970	0
		11		m						A=6, B=4	
	軽量鋼矢板引抜工									施工 第0-0038号表	
		11		m						S6971	0
										A=6, B=2	
										施工 第0-0039号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	土留支保工 軽量金属支保工 3段4.0m以下 掘削深4.0m以下									V00180	0
		11	m							施工	第0-0040号表
	軽量鋼矢板等賃料 (H=4.0) 矢板・腹起し・切ばり・水圧ポンプ									W0001	
		1	式								
開削水替工										Y2A0101	
開削水替										Y3A010101	
		1	式							工種	第0002号表
マンホール設置工										Y1A01	
1号マンホール設置工 (組立式)										Y2A0101	
1号 マンホール底版 H=130 外径1100mm H=130mm										T9351	0
		2	個								
1号 マンホールく体ブロック H=1800 内径 900mm H=1800mm										T9358	0
		2	個								
1号 マンホール直壁 H=1200 内径 900mm H=1200mm										T9373	0
		1	個								

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号 マンホール直壁 H=1500 内径 900mm H=1500mm						T9374 0
	1		個			
1号 マンホール斜壁 H=300 内径600-900mm H=300mm						T9396 0
	1		個			
1号 マンホール斜壁 H=450 内径600-900mm H=450mm						T9399 0
	1		個			
組立式マンホール調整リング 内径600 H=100 内径 600mm H=100mm						T9406 0
	1		個			
組立式マンホール調整リング 内径600 H=150 内径 600mm H=150mm						T9407 0
	1		個			
組立式マンホール調整金具 25mmまで 調整高 25mmまで						T9410 0
	1		組			
組立式マンホール調整金具 45mmまで 調整高 45mmまで						T9411 0
	1		組			
マンホール蓋 車道用T-25(除雪対応) φ 600 車道用 (除雪対応型) T-25						T14200 0
	2		組			
1号マンホール現場削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150						TG3003 0
	1		箇所			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	1号マンホール削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150									TG3000	0
		1			箇所						
	組立マンホール設置工 1号(内径900mm) マンホール深さ3m超～4m以下									S6985	0
		2			箇所					A=2, B=5, C=2, D=1, E=1 施工 第0-0045号表	
	マンホール設置工（底部工） 組立式									S6871	0
		2			箇所					A=1. 4, B=2, C=0. 173, D=1, E=0. 713, F=0. 02, G=2 , H=1 施工 第0-0046号表	
附帯工										Y1A01	
舗装工										Y2A0101	
取壊し工										Y3A010101	
	舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版									SP4028	0
		30			m					A=1, B=1, E=1 施工 第0-0022号表	
	舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装 アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027	0
		22			m2					A=1, B=1, C=1, D=4, F=1 施工 第0-0023号表	
	ダンプトラック運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)									SP2081	0
		0. 8			m3					A=2, B=4, C=1, J=3 施工 第0-0024号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
As舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬									S5099 0 A=1, B=0.05, C=30, E=20, F=1, G=1	
	1		式						施工 第0-0050号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
アスファルト廃材処理費									TAK96 0	
	0.8		m3							
As舗装切断排水									TAC09 0	
	0.04		t							
路盤工（旧B交通仮復旧） 1000>T≧250									Y3A010101	
上層路盤工（人力施工）路盤厚27cm 路盤厚27cm 車道	2		m2						S4015 0 A=2, B=27, C=4	
									施工 第0-0036号表	
下層路盤工（人力施工）路盤厚35cm 路盤厚35cm 車道	2		m2						S4015 0 A=2, B=35, C=5	
									施工 第0-0037号表	
路盤工（歩道）									Y3A010101	
路盤工（歩道部） 路盤厚10cm 全仕上り厚100mm	8		m2						SP4003 0 A=100, B=1, C=3	
									施工 第0-0051号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
表層工										Y3A010101	
	小規模アスファルト舗装（施工費） 施工面積 10m2≦A<30m2									TA002 0	
		1			箇所						
	小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 歩道									S4038 0 A=2, B=2, C=3, D=12, E=2 施工 第0-0052号表	
		20			m2						
	小規模アスファルト舗装（材料費） 表層工 車道及び路肩									S4038 0 A=2, B=1, C=3, D=3, E=2 施工 第0-0053号表	
		9			m2						
交通誘導員										Y3A010101	
	交通誘導警備員									S7192 0 A=0, B=4, C=7 施工 第0-0054号表	
		1			式						
直接工事費											
技術管理費										Z0006	
					式						
	土の突固め試験（乾燥法） モールド径15cm、ランマー25N									T9636 0	
		1			試料						

小 矢 部

本工事費内訳表

頁 0-0014

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費 (率分)											
					式						
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費											
					式						
現場管理費計											
工事原価											
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税等相当額											
					式						

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税等相当額計											
					式						
請負対象工事費計											

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
碎石基礎工 市場単価方式 機械施工						S6994 0 A=2, B=2, C=1, D=1
		1	m3			施工 第0-0007号表
再生碎石 RC-40						T4090 0
		1.20	m3			
単位当り						
		1	m3			

工 種 明 細 表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ポンプ据付撤去工 1～2台						V0200 0
		1		現場			施工 第0-0043号表
	標準歩掛P74						V0201 0
				日			施工 第0-0044号表
	ポンプ運転工 50mm×1 口径50mm*1 揚程5m 作業時排水 商用電源						
		1		式			
	単位当り						

S6992

施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号表

頁 0-0018

[名 称] リブ付硬質塩化ビニル管設置工
[規格1] 市場単価方式

1 m 当り

[規格2] 呼び径 150mm

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	1.00	m			TH870
＊＊単位当り＊＊	1	m			
A=1 呼び径 150mm C=1 時間的制約無			B=2 20m未満 D=1 標準（昼間）		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2010

施工 第0-0002号表

[名 称] バックホウ床掘			1			m3			当り		
[規格 1] 土砂			[規格 2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満								
機械構成比： 31.93%			労務構成比： 55.08%			材料構成比： 12.99%			市場単価構成比： 0.00%		
									標準単価： 288.25		
代 表 機 労 材 規 格			構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)			単価(東京地区)		備 考	
バックホウ			31.93%		バックホウ					MH108	
特殊運転手			55.08%		運転手（特殊） 東京単価					R2002	
軽油 (パトロール)			12.99%		軽油 東京単価 1． 2 号 パトロール給油					T3002	
積算単価					積算単価					EP001	
A=1 土砂 C=1 土留方式 無し					B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害 無し						

S6801

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

頁 0-0020

[名 称] 機械掘削 (バックホウ)

1

m3

当り

[規格1] バックホウ

クレーン1次排対

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 補助的作業(床均し等)
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320
諸雑費	1	式			#90
1m3当り		m3			+00
※※単位当り※※	1	m3			
A=4 バックホウ			B=1 岩石補正なし		

小 矢 部

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号表

頁 0-0021

[名 称] 機械投入埋戻工（流用土路体）
[規格 1] 流用土

100

m3

当り

[規格 2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助＋タンパ締固補助
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機－1）		時間			S1320
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015 施工 第0-0005号表
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A=4 バックホウ			B=4 発生土		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2015

施工 第0-0005号表

[名 称] タンパ締固め			[規格 2]			1	m3	当り
[規格 1]								
機械構成比： 1.39%			労務構成比： 97.22%			材料構成比： 1.39%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 1,398		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)		備 考
タンパ賃料		1.39%		タンパ及びランマ 東京単価 質量 6 0 ～ 8 0 k g				T7285
特殊作業員		51.95%		特殊作業員 東京単価				R2005
普通作業員		45.27%		普通作業員 東京単価				R2006
ガソリン JIS2号レギュラ		1.39%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド				T3004
積算単価				積算単価				EP001

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号表

頁0-0023

[名 称] 機械投入埋戻工（碎石路床）

100

m3 当り

[規格1] 再生碎石 RC-40

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助＋タンパ締固補助
再生碎石 RC-40	120.00	m3			T4090 埋戻し用
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機-1）		時間			S1320
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015 施工 第0-0005号表
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A=4 バックホウ C=1.2 土量変化率			B=2 再生碎石 RC-40		

小 矢 部

S6994

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号表

頁 0-0024

[名 称] 砕石基礎工
[規格1] 市場単価方式

1 m3 当り

[規格2] 機械施工

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH878
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=2 機械施工 C=1 時間的制約無			B=2 10m3未満 D=1 標準（昼間）		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2002

施工 第0-0008号表

[名 称] ダンプトラック運搬			1 m3 当り		
[規格 1] 標準			[規格 2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
機械構成比： 47.71%			標準単価： 955.93		
労務構成比： 37.09%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 15.20%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	37.09%		運転手 (一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)		
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1 DID区間 無し		
I=5 3.5km以下					

V8000

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0026

[名 称] 推進用鋼管

1

式 当り

[規格1]

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般構造用炭素鋼管 (STK400) φ 457. 2×9. 5mm	945	kg			W0001
鋼管切断・開先加工費	9	箇所			W0002
＊＊単位当り＊＊	1	式			

小 矢 部

V8001

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号表

頁0-0027

[名 称] 推進工

1

m

当り

[規格1] φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
溶接工		人			R2018
トラッククレーン賃料		日			S5326
酸素 圧縮ボンベ	0.09	m3			T3147
アセチレン	0.045	kg			T3148
推進工機械器具損料 推進機 M型		日			W0001
軽油 (スタンド)		L			T3048
単位当り	1	m			

小 矢 部

V8002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

頁0-0028

[名 称] サヤ管内排土、ズリ出工

6.4

m

当り

[規格1] φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動		日			S1720
自走式排土バケット損料		日			W0001
ウインチ損料		日			W0002
空気圧縮機運転 第1次排対 (機-12)		日			S1147
合計	6.4	m			
単位当り	1	m			

小 矢 部

V8003

施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号表

頁0-0029

[名 称] 塩ビ管挿入工

18

m

当り

[規格1] φ150

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
トラック（クレーン装置付）運転 （機-1）		時間			S1002
塩ビ管挿入工 機械器具損料		日			W0001
軽油 （スタンド）		L			T3048
合計	18	m			
単位当り	1	m			

小 矢 部

V8004

施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号表

頁 0-0030

[名 称] 中込注入工

1

m3

当り

[規格1] φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
グラウトポンプ運転 (機-25)		日			S1354 施工 第0-0014号表
グラウトミキサ運転 (機-25)		日			S1309 施工 第0-0015号表
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動		日			S1720
軽油 (スタンド)		L			T3048
単位当り	1	m3			

小 矢 部

S1354

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号表

頁 0-0031

[名 称] グラウトポンプ運転
[規格1]

1

日

当り

[規格2] (機-25)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グラウトポンプ		供用日			M1348
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=1 機械損料数量					

小 矢 部

S1309

施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号表

頁 0-0032

[名 称] グラウトミキサ運転
[規格1]

1 日 当り

[規格2] (機-25)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グラウトミキサ		日			M1341
※※単位当り※※	1	日			
A=1 機械損料数量					

小 矢 部

V8005

施 工 内 訳 表

施工 第0-0016号表

頁0-0033

[名 称] 推進設備工

1

回

当り

[規格1] φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
とび工		人			R2011
溶接工		人			R2018
軽油 (スタンド)		L			T3048
溶接棒 D4301 軟鋼用4mm	1.5	kg			T3551
酸素 圧縮ボンベ	4.5	m3			T3147
アセチレン	2.3	kg			T3148
計測器損料		供用日			W0001
電気溶接機損料		日			W0002
トラッククレーン賃料		日			S5326

小 矢 部

V8005

施 工 内 訳 表

施工 第0-0016号表

頁0-0034

[名 称] 推進設備工

1

回 当り

[規格1] φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単位当り	1	回			

小 矢 部

V8006

施 工 内 訳 表

施工 第0-0017号表

頁 0-0035

[名 称] 鏡切工

1

箇所 当り

[規格1] 鋼矢板 II型 φ450

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鏡切工	3	m			V8008 施工 第0-0018号表
単位当り	1	箇所			

小 矢 部

V8008

施 工 内 訳 表

施工 第0-0018号表

頁 0-0036

[名 称] 鏡切工

1

m

当り

[規格1]

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
溶接工		人			R2018
普通作業員		人			R2006
単位当り	1	m			

小 矢 部

V8007

施 工 内 訳 表

施工 第0-0019号表

頁 0-0037

[名 称] 中込注入設備工

1

箇所 当り

[規格1]

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
一般運転手		人			R2015
クレーン装置付トラック損料	1.78	h			W0001
軽油 (スタンド)		L			T3048
単位当り	1	箇所			

小 矢 部

V8009

施 工 内 訳 表

施工 第0-0020号表

頁 0-0038

[名 称] 到達処理工

1

箇所 当り

[規格1]

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
溶接工		人			R2018
普通作業員		人			R2006
単位当り	1	箇所			

小 矢 部

S6836

施 工 内 訳 表

施工 第0-0021号表

頁 0-0039

[名 称] 注入設備据付・解体

1

現場 当り

[規格1] 二重管ストレーナ工法

[規格2] 2セット

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
トラック（クレーン装置付）運転 （機-1）		時間			S1002
諸雑費	1	式			#90
※※単位当り※※	1	現場			

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4028

施工 第0-0022号表

頁 0-0040

[名 称] 舗装版切断 アスファルト舗装版			[規格 2]		
[規格 1] アスファルト舗装版					
機械構成比： 6.29%			標準単価： 558.1		
労務構成比： 54.24%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 39.47%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ	4.25%		コンクリートカッタ		M2002
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	9.56%		土木一般世話役 東京単価		R2008
普通作業員	8.20%		普通作業員 東京単価		R2006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドブレード 径56cm	36.63%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ		T3663
ガソリン JIS2号レギュラ	1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 全ての費用			B=1 15cm以下		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

頁 0-0041

SP4027

施工 第0-0023号表

[名 称] 舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装			1 m2 当り		
[規格 1] アスファルト舗装版			[規格 2] 障害等 無し		
機械構成比： 9.77%			標準単価： 166.23		
労務構成比： 81.96%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 8.27%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料	9.77%		バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積 0. 4 5 m 3 (平積 0. 3 5 m 3)		T7275
土木一般世話役 一般施工	29.03%		土木一般世話役 東京単価		R2008
特殊運転手	28.06%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
普通作業員	24.87%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	8.27%		軽油 東京単価 1. 2 号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策 不要 F=1 積込作業 有り			B=1 障害等 無し D=4 15cm以下		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2081

施工 第0-0024号表

[名 称] ダンプトラック運搬			1 m3 当り		
[規格 1] 舗装版破碎			[規格 2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		
機械構成比： 47.71%			標準単価： 2,140.2		
労務構成比： 37.09%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 15.20%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	37.09%		運転手 (一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=1 DID区間 無し			B=4 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) J=3 3.5km以下		

S5099

施 工 内 訳 表

施工 第0-0025号表

頁 0-0043

[名 称] 舗装切断排水運搬費

1

式 当り

[規格1] 2tダンプトラック運搬

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
※※単位当り※※	1	式			
A=1 当初 C=11 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.1 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=20 片道運搬距離 L (km) G=1 良好		

小 矢 部

S6821

施 工 内 訳 表

施工 第0-0026号表

頁 0-0044

[名 称] 建込簡易土留工

10

m 当り

[規格1] 建込工

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
諸雑費	1	式			#90
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A=4.5 掘削深（m）					

小 矢 部

S6822

施 工 内 訳 表

施工 第0-0027号表

頁 0-0045

[名 称] 建込簡易土留工

10

m 当り

[規格1] 引抜工

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラフテレーンクレーン賃料		日			S5327 施工 第0-0028号表
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
諸雑費	1	式			#90
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A=4.5 掘削深 (m)			B=0 クレーン賃料補正係数		

小 矢 部

S5327

施 工 内 訳 表

施工 第0-0028号表

頁 0-0046

[名 称] ラフテレーンクレーン賃料
[規格1]

1 日 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ラフテレーンクレーン賃料		供用日			T7084
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=4			B=0 賃料補正係数		

小 矢 部

S9720

施 工 内 訳 表

施工 第0-0029号表

頁 0-0047

[名 称] 鋼矢板賃料

1

t

当り

[規格1] 軽量鋼矢板 II型・III型

[規格2] 使用回数 1回

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板賃料 軽量 1-3箇月	1.00	式			T7104
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=4 軽量鋼矢板 II型・III型 E=2 修理費及び損耗費計上しない			D=1 使用回数 1回		

小 矢 部

S9720

施 工 内 訳 表

施工 第0-0030号表

頁 0-0048

[名 称] 鋼矢板賃料（一部撤去）

1

t

当り

[規格1] 軽量鋼矢板 II型・III型

[規格2] 使用回数 1回

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板賃料 軽量 1-3箇所	1.00	式			T7104
鋼矢板修理費及び損耗費 1型、2型、3型	1.00	式			T1024 使用回数による補正
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=4 軽量鋼矢板 II型・III型 E=1 修理費及び損耗費計上する			D=1 使用回数 1回 G=1 補助工法 無		

小 矢 部

S9721

施 工 内 訳 表

施工 第0-0031号表

頁 0-0049

[名 称] H形鋼賃料

1

t

当り

[規格1] H形鋼 (山留主部材) H-250

[規格2] 使用回数 1回

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
H形鋼賃料 (山留用主部材) 250-400型 1-3箇月	1.00	式			T7145
単位当り	1	t			
A=6 H形鋼 (山留主部材) H-250 F=2 修理費及び損耗費計上しない			E=1 使用回数 1回		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2010

施工 第0-0032号表

[名 称] 立坑予掘工			1 m3 当り		
[規格 1] 土砂			[規格 2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満		
機械構成比： 31.93%			標準単価： 288.25		
労務構成比： 55.08%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 12.99%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ	31.93%		バックホウ		MH108
特殊運転手	55.08%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)	12.99%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式 無し			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害 無し		

S6801

施 工 内 訳 表

施工 第0-0033号表

頁 0-0051

[名 称] 立抗掘削工

1

m3

当り

[規格 1] バックホ

クレーン1次排対

[規格 2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 補助的作業(床均し等)
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)		時間			S1320
諸雑費	1	式			#90
1m3当り		m3			+00
単位当り	1	m3			
A=4 バックホ			B=1 岩石補正なし		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2012

施工 第0-0034号表

[名 称] 基面整正			[規格 2]		
[規格 1]			1 m2 当り		
機械構成比： 0.00%			標準単価： 422		
労務構成比： 100.00%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 0.00%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%		普通作業員 東京単価		R2006
積算単価			積算単価		EP001

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0035号表

頁0-0053

[名 称] 機械投入埋戻工

100

m3

当り

[規格1] 再生砕石 RC-40

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
普通作業員		人			R2006 バックホウ投入補助+タンパ締固補助
再生砕石 RC-40	120.00	m3			T4090 埋戻し用
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機-1）		時間			S1320
タンパ締固め	100.00	m3			SP2015 施工 第0-0005号表
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A=4 バックホウ C=1.2 土量変化率			B=2 再生砕石 RC-40		

小 矢 部

S4015

施 工 内 訳 表

施工 第0-0036号表

頁 0-0054

[名 称] 上層路盤工（人力施工）路盤厚27cm

100

m2 当り

[規格1] 路盤厚27cm

[規格2] 車道

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			R2006
粒調碎石 M40	34.29	m3			T4051
タンパ運転 (機-23)		日			S1235
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=2 車道 C=4 粒調碎石 M-40			B=27 仕上り厚 (cm)		

小 矢 部

S4015

施 工 内 訳 表

施工 第0-0037号表

頁 0-0055

[名 称] 下層路盤工（人力施工）路盤厚35cm

100

m2 当り

[規格1] 路盤厚35cm

[規格2] 車道

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			R2006
再生砕石 RC-40	44.45	m3			T4090
タンパ運転 (機-23)		日			S1235
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40			B=35 仕上り厚 (cm)		

小 矢 部

S6970

施 工 内 訳 表

施工 第0-0038号表

頁 0-0056

[名 称] 軽量鋼矢板建込工
[規格1]

100 m 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機-1）		時間			S1320
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=6 3.8m以下			B=4 バックホウ		

小 矢 部

S6971

施 工 内 訳 表

施工 第0-0039号表

頁 0-0057

[名 称] 軽量鋼矢板引抜き工
[規格1]

100 m 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機-1）		時間			S1320
諸雑費	1	式			#90
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=6 3.8m以下			B=2 バックホウ		

小 矢 部

V00180

施 工 内 訳 表

施工 第0-0040号表

頁 0-0058

[名 称] 土留支保工 軽量金属支保工 3段4.0m以下

1 m 当り

[規格1] 掘削深4.0m以下

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土留支保工（軽量金属支保工）設置 切梁材 水圧式パイプサポート 3段 3.8m以下	1	m			S6972 施工 第0-0041号表
土留支保工（軽量金属支保工）撤去 切梁材 水圧式パイプサポート 3段 3.8m以下	1	m			S6972 施工 第0-0042号表
＊＊単位当り＊＊	1	m			

小 矢 部

S6972

施 工 内 訳 表

施工 第0-0041号表

頁 0-0059

[名 称] 土留支保工（軽量金属支保工）設置

100

m

当り

[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート

[規格2] 3段 3.8m以下

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=1 設置 C=3 3段 3.8m以下			B=1 切梁材 水圧式パイプサポート		

小 矢 部

S6972

施 工 内 訳 表

施工 第0-0042号表

頁 0-0060

[名 称] 土留支保工（軽量金属支保工）撤去

100

m

当り

[規格1] 切梁材 水圧式パイプサポート

[規格2] 3段 3.8m以下

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
合計	100	m			
単位当り	1	m			
A=2 撤去 C=3 3段 3.8m以下			B=1 切梁材 水圧式パイプサポート		

小 矢 部

V0200

施 工 内 訳 表

施工 第0-0043号表

頁0-0061

[名 称] ポンプ据付撤去工

1

現場 当り

[規格1] 1～2台

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			R2006
＊＊単位当り＊＊	1	現場			

小 矢 部

V0201

施 工 内 訳 表

施工 第0-0044号表

頁0-0062

[名 称] ポンプ運転工 50mm×1

1

日

当り

[規格1] 口径50mm*1 揚程5m 作業時排水

[規格2] 商用電源

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			R2005
普通作業員		人			R2006
工事用水中ポンプ損料 口径50mm 揚程5m		日			T7480
諸雑費		%			#09 電力料及び吐出配管・水槽損料等
単位当り	1	日			

小 矢 部

S6985

施 工 内 訳 表

施工 第0-0045号表

頁 0-0063

[名 称] 組立マンホール設置工

1

箇所 当り

[規格1] 1号(内径900mm)

[規格2] マンホール深さ3m超～4m以下

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ 3m超～4m以下	1.00	箇所			TH275
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			
A=2 1号(内径900mm) C=2 4箇所未満 E=1 標準(昼間)			B=5 3m超～4m以下 D=1 時間の制約無		

小 矢 部

S6871

施 工 内 訳 表

施工 第0-0046号表

頁 0-0064

[名 称] マンホール設置工（底部工）

1

箇所 当り

[規格1] 組立式

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生碎石 RC-40	1.68	m3			T4090
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.17	m3			SP2082 施工 第0-0047号表
モルタル上塗り	0.71	m2			S6841 施工 第0-0048号表
※※単位当り※※	1	箇所			
A=1.4 碎石基礎数量（m3／箇所） C=0.173 インバートコンクリート数量（m3／箇所） E=0.713 モルタル上塗り数量（m2／箇所） G=2 普通			B=2 再生碎石 D=1 一般養生 F=0.02 モルタル量（m3／m2） H=1 生コン小型車割増なし		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2082

施工 第0-0047号表

[名 称] コンクリート			[規格 2] 人力打設			1	m3	当り
[規格 1] 無筋・鉄筋構造物			[規格 2] 人力打設					
機械構成比： 0.00%			市場単価構成比： 0.00%			標準単価： 22,622		
代 表 機 労 材 規 格			代 表 機 労 材 規 格(東京地区)			備 考		
普通作業員			普通作業員 東京単価			R2006		
特殊作業員			特殊作業員 東京単価			R2005		
土木一般世話役 一般施工			土木一般世話役 東京単価			R2008		
その他(労務)			その他(労務)			ER009		
生コンクリート 18－ 8－40 W/C≦65%			生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			T4014		
積算単価			積算単価			EP001		
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=23 18－ 8－40 W/C≦65% G=2 現場内小運搬 無し			B=4 人力打設 E=2 一般養生 L=1 生コン小型車割増なし					

S6841

施 工 内 訳 表

施工 第0-0048号表

頁 0-0066

[名 称] モルタル上塗り
[規格1]

1 m2 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル練 混合比 1 : 2	0.02	m3			SP2083 施工 第0-0049号表
左官		人			R2038
普通作業員		人			R2006
単位当り	1	m2			
A=0.02 モルタル量 (m3/m2) C=1 普通			B=2 1 : 2		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2083

施工 第0-0049号表

頁 0-0067

[名 称] モルタル練			1 m3 当り		
[規格 1] 混合比 1 : 2			[規格 2]		
機械構成比 : 0.00%			標準単価 : 44,520		
労務構成比 : 61.62%			市場単価構成比 : 0.00%		
材料構成比 : 38.38%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	61.62%		普通作業員 東京単価		R2006
セメント(普通ポルトランド) 袋物 JISR-5210	28.46%		セメント 東京単価 高炉B 25kg袋入		T3265
砂 (細目・荒目)	9.92%		砂 東京単価 細目(洗い)		T4041
積算単価			積算単価		EP001
A=1 普通			B=2 1 : 2		

S5099

施 工 内 訳 表

施工 第0-0050号表

頁 0-0068

[名 称] As舗装切断排水運搬費
[規格1] 2tダンプトラック運搬

1

式 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
※※単位当り※※	1	式			
A=1 当初 C=30 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.05 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=20 片道運搬距離 L (km) G=1 良好		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4003

施工 第0-0051号表

[名 称] 路盤工 (歩道部) 路盤厚10cm		[規格 1] 全仕上り厚100mm		[規格 2]		1	m2	当り
機械構成比: 6.19%		労務構成比: 70.45%		材料構成比: 23.36%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 713.44
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)		単価 (東京地区)		備 考
小型バックホウ賃料		3.20%		小型バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積 0. 1 1 m 3 (平積 0. 0 8 m 3)				T7280
振動ローラ賃料		2.81%		振動ローラ (舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量 3 ~ 4 t				T7284
その他 (機械)				その他 (機械)				EK009
普通作業員		29.62%		普通作業員 東京単価				R2006
特殊運転手		24.88%		運転手 (特殊) 東京単価				R2002
特殊作業員		13.90%		特殊作業員 東京単価				R2005
その他 (労務)				その他 (労務)				ER009
再生砕石 RC-40		21.36%		再生クラッシャラン 東京単価 R C - 4 0 平均仕上がり厚 100mm				T4090
軽油 (パトロール)		1.95%		軽油 東京単価 1. 2 号 パトロール給油				T3002
その他 (材料)				その他 (材料)				EZ009
積算単価				積算単価				EP001

施工 第0-0051号表

小 矢 部

S4038

施 工 内 訳 表

施工 第0-0052号表

頁 0-0071

[名 称] 小規模アスファルト舗装（材料費）

1

m2 当り

[規格1] 表層工

[規格2] 歩道

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13	0.07	t			T3921
アスファルト乳剤 PK-3		L			T3019
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2 表層工 C=3 舗装厚（cm） E=2 プライムコート			B=2 歩道 D=12 密粒度 AC 13		

小 矢 部

S4038

施 工 内 訳 表

施工 第0-0053号表

頁 0-0072

[名 称] 小規模アスファルト舗装 (材料費)

1

m2 当り

[規格1] 表層工

[規格2] 車道及び路肩

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 13FA	0.08	t			T3922
アスファルト乳剤 PK-3		L			T3019
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2 表層工 C=3 舗装厚 (cm) E=2 プライムコート			B=1 車道及び路肩 D=3 密粒度 AC 13FA		

小 矢 部

S7192

施 工 内 訳 表

施工 第0-0054号表

頁0-0073

[名 称] 交通誘導警備員
[規格1]

1

式 当り

[規格2]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		人			R2053
＊＊単位当り＊＊	1	式			
A=0 交通誘導警備員A 配置人員（人） C=7 必要日数（日）			B=4 交通誘導警備員B 配置人員（人）		

小 矢 部

機 材 集 計 表

頁 0-0074

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
2	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
3	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
4	M1321	191			トラック	運搬機械等損料
5	M1341	192			グラウトミキサ	基礎等機械損料
6	M1348	192			グラウトポンプ	基礎等機械損料
7	M2814	196			発動発電機	電気機器等損料
8	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
9	MH613	195			空気圧縮機	コンプレ等損料
10	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
11	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
12	R2006	12			普通作業員	普通作業員
13	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
14	R2011	15			とび工	とび工
15	R2015	19			一般運転手	一般運転手
16	R2018	38			溶接工	機械工
17	R2038	31			左官	左官工
18	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
19	T1024	180		0.2	軽量鋼矢板整備費	仮設材損料
20	T3002	66			軽油	軽油
21	T3004	65			ガソリン	ガソリン
22	T3019	78			アスファルト乳剤	アス乳剤
23	T3048	66			軽油	軽油
24	T3147	68		5.31	酸素	プロパンガス等
25	T3148	68		2.705	アセチレン	プロパンガス等
26	T3551	198		1.5	溶接棒	消耗品費
27	T3921	71		1.4	アスファルト合材 再生材入り	密粒度 13
28	T3922	72		0.72	アスファルト合材 再生材入り	密粒13～20 F
29	T4051	53		3.0861	粒調碎石	粒度調整碎石
30	T4090	52		21.2805	再生碎石	クラッシュラン
31	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
32	T7084	44			ラフテレーンクレーン賃料	建設機械賃料
33	T7104	180			鋼矢板賃料	仮設材損料
34	T7145	180			H形鋼賃料（山留用主部材）	仮設材損料
35	T7480	44			工事用水中ポンプ	建設機械賃料
36	T9351	186		2	1号 マンホール底版	マンホール

小 矢 部

機 材 集 計 表

頁 0-0075

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	T9358	186		2	1号 マンホールく体ブロック	マンホール
38	T9373	186		1	1号 マンホール直壁	マンホール
39	T9374	186		1	1号 マンホール直壁	マンホール
40	T9396	186		1	1号 マンホール斜壁	マンホール
41	T9399	186		1	1号 マンホール斜壁	マンホール
42	T9406	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
43	T9407	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
44	T9410	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
45	T9411	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
46	T9636	9		1	土の突固め試験(乾燥法)	試験費
47	T9951	167		3	硬質塩化ビニール管	塩ビ管、ポリ管
48	TA002	200		1	小規模アスファルト舗装(施工費)	
49	TAC09	189		0.08	As舗装切断排水	投棄料
50	TAK96	189		1.5	アスファルト産廃処理費	投棄料
51	TH275	999		2	組立マンホール設置工 1号	その他
52	TH870	200		10	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	
53	TH878	200		3	砕石基礎設置	
54	TST18	189		20	公共用残土仮置場(搬入)	投棄料
55	WXXXX	966				
56	WXXXX	968				

小 矢 部

参考様式

工 事 数 量 総 括 表

工事区分(レベル1)	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
工種(レベル2)						
種別(レベル3)						
細別(レベル4)						
管路		式		1		
管路(本管)		式		1		
管路施設材料及び管布設工		式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	φ150mm	m		10		数量計算書
リブ管用マンホール用可とう継手	PRPφ150 拡張バンドタイプ	個		2		〃
硬質塩化ビニール管	100mm×3.1mm×4000mm	本		3		〃
マンホール用可とう継手	Vuφ150 拡張バンドタイプ	個		2		〃
土工		式		1		
バックホウ床掘	土砂、平均幅1m以上2m未満	m3		10		数量計算書
機械掘削	BH0.45m3	m3		28		〃
機械投入埋戻工	流用土	m3		30		〃
機械投入埋戻工	再生砕石RC-40	m3		2		〃
砕石基礎工		m3		3		〃
残土処理		式		1		
ダンプトラック運搬	10tDT L≦3.5km	m3		5		数量計算書
公共用残土仮置場(搬入)		m3		5		〃
推進工		式		1		
圧入式鋼管推進工		式		1		
推進用鋼管		式		1		数量計算書
推進工	φ450	m		9		〃
サヤ管内排土、ズリ出土	φ450	m		9		〃
スパーサ	塩ビ管用	個		6		〃
塩ビ管挿入工	φ150mm	m		9		〃
中込注入工	φ450	m3		1		〃
推進設備工	φ450	回		1		〃
鏡切工	鋼矢板Ⅱ型 φ450	箇所		1		〃
中込注入設備工		箇所		1		〃
到達処理工		箇所		1		〃
薬液注入工		式		1		
二重管ストレーナ工法		本		4		数量計算書
注入設備据付・解体	二重管ストレーナ工法 2セット	現場		1		〃
立抗(舗装取壊工)		式		1		
舗装版切断	As舗装版	m		11		数量計算書
舗装版直接掘削・積込工	As舗装版	m2		7		〃
ダンプトラック運搬	舗装版破砕	m3		0.7		〃
As舗装切断排水運搬費	2tDT	式		1		

	アスファルト廃材処理費		m3		0.7		数量計算書
	As舗装切断排水		t		0.04		〃
	立抗（土留工）		式		1		
	建込簡易土留工	建込工	m		3		数量計算書
	建込簡易土留工	引抜工	m		3		〃
	鋼矢板賃料	軽量鋼矢板Ⅱ型・Ⅲ型	t		0.7		〃
	鋼矢板賃料（一部撤去）	軽量鋼矢板Ⅱ型・Ⅲ型	t		0.2		〃
	H型钢賃料	H型钢 H-250	t		0.06		〃
	立抗（土工）		式		1		
	立抗予掘工	土砂、平均幅1m以上2m未満	m3		6		数量計算書
	立抗掘削工	BH0.45m3	m3		23		〃
	基面整正		m2		7		〃
	機械投入埋戻工	RC-40	m3		0.6		〃
	機械投入埋戻工	流用土	m3		12		〃
	機械投入埋戻工（砕石路床）	RC-40	m3		6		〃
	ダンプトラック運搬	10tDT L≤3.5km	m3		15		〃
	公共用残土仮置場（搬入）		m3		15		〃
	立抗（舗装工）		式		1		
	上層路盤工	M-40 t=27cm	m2		7		数量計算書
	下層路盤工	RC-40 t=35cm	m2		7		〃
	土留工		式		1		
	軽量鋼矢板(H=4.0m)		式		1		
	軽量鋼矢板建込工		m		11		数量計算書
	軽量鋼矢板引抜工		m		11		〃
	土留支保工		m		11		〃
	軽量鋼矢板賃料		式		1		
	開削水替工		式		1		
	開削水替		式		1		
	マンホール設置工		式		1		
	1号マンホール設置工（組立式）		式		1		
	1号マンホール底版	外径1100mm H=130mm	個		2		数量計算書
	1号マンホールく体ブロック	内径900mm H=1800mm	個		2		〃
	1号マンホール直壁	内径900mm H=1200mm	個		1		〃
	1号マンホール直壁	内径900mm H=1500mm	個		1		〃
	1号マンホール斜壁	内径600-900mm H=300mm	個		1		〃
	1号マンホール調整リング	内径600mm H=100mm	個		1		〃
	1号マンホール調整リング	内径600mm H=150mm	個		1		〃
	組立式マンホール調整金具	25mmまで	組		1		〃
	組立式マンホール調整金具	45mmまで	組		1		〃
	マンホール蓋	T-25（除雪対応） φ600	組		2		〃
	1号マンホール削孔費	PRP φ150	箇所		1		〃
	1号マンホール現場削孔費	PRP φ150	箇所		1		〃

[illegible]

本管土工管材土留数量計算書

補助路線

[illegible]

1 号 マ シ ホ ー ル 数 量 計 算 書

補助路線

[illegible]

補助路線

補助路線

補助路線

上段：道路左側
下段：道路右側

步道

上段：道路左側
下段：道路右側

補助路線

B 交通

[illegible]

上段：道路左側

下段：道路右側

上段：道路左側

下段：道路右側

推進工数量計算書

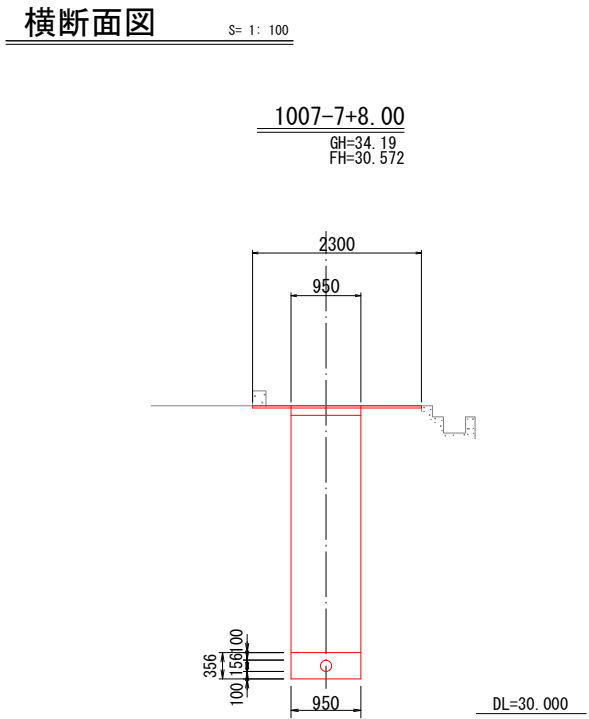
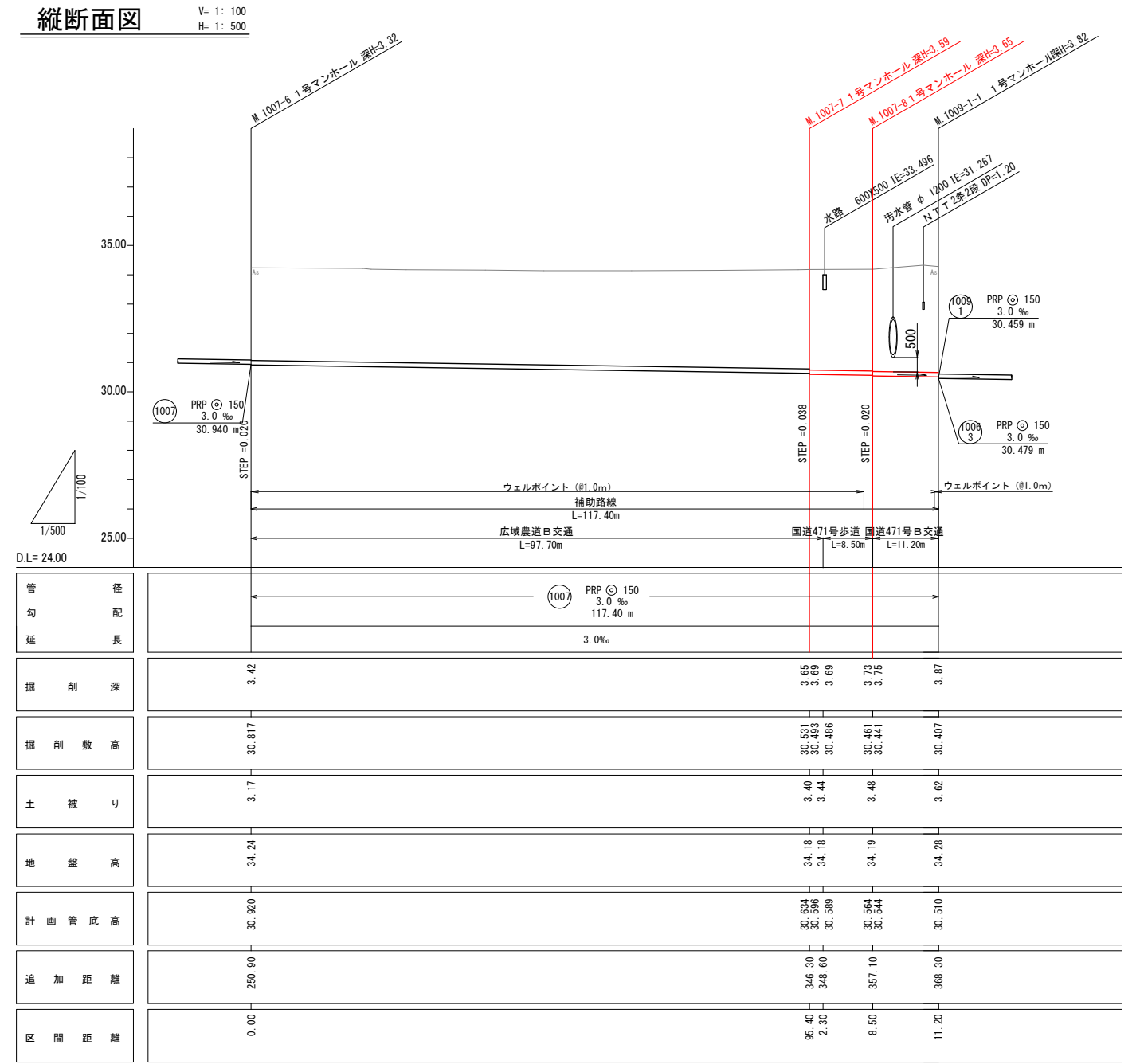
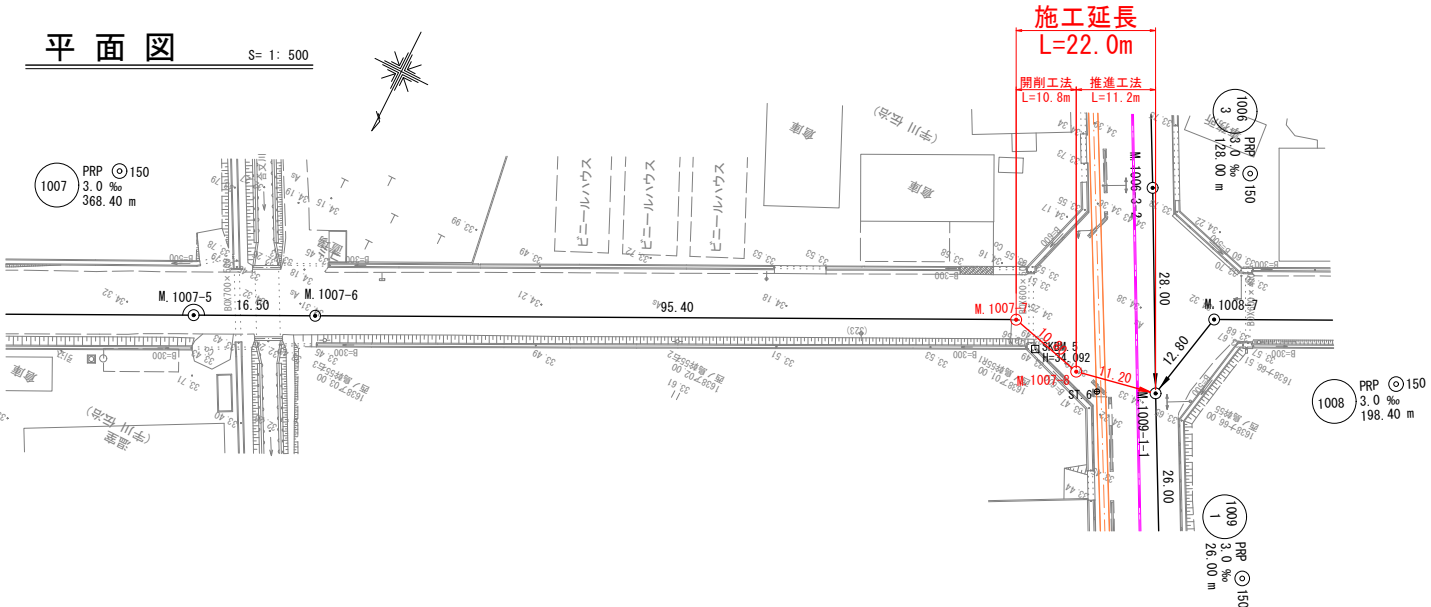
1007

名 称	算 式	数 量
1. 立坑 (土留工)	管きょ工(小口径管推進, 管径φ450mm) 鋼製さや管推進工法 圧入方式 施工位置 : 1007	
	内寸 2.00m × 3.00m 外寸 2.20m × 3.20m	
	(1) 舗装切断工 旧B交通 (t=0.10m) (2.20 + 3.20) × 2 = 10.80	10.8 m
	(2) 舗装取壊工 旧B交通 (t=0.10m) 2.20 × 3.20 = 7.04	7.0 m ²
	(3) 仮設土留工 簡易建込土留(H=4.5m) L=3.00m	3.0 m
	軽量鋼矢板土留(Ⅱ型) H=4.5m L=2.00m 1枚当り重量 14.2 kg/m × 4.5 m = 63.9 kg ≒ 0.064 t	2.0 m
	賃料 W= 11 枚 × 0.064 t = 0.704 t	0.70 t
	一部撤去 3 枚 × 0.064 t = 0.192 t	0.19 t
	H形鋼 100×100 1本当り重量 16.9 kg/m × 1.9 m = 32.1 kg ≒ 0.032 t	
	賃料 2 本 × 0.032 t = 0.064 t	0.06 t
(4) 土工	掘削工 埋戻工	
	4.23 0.10 0.90 予掘 舗装 0.60 3.23 掘削 路床 1.00 発生土1 1.69 砂基礎 0.36 発生土2 0.48 碎石 0.10 4.13	
	a) 立坑予掘工 2.20 × 3.20 × 0.90 = 6.34	6.3 m ³
	b) 立坑掘削工 2.20 × 3.20 × 3.23 = 22.74	22.7 m ³

推進工数量計算書

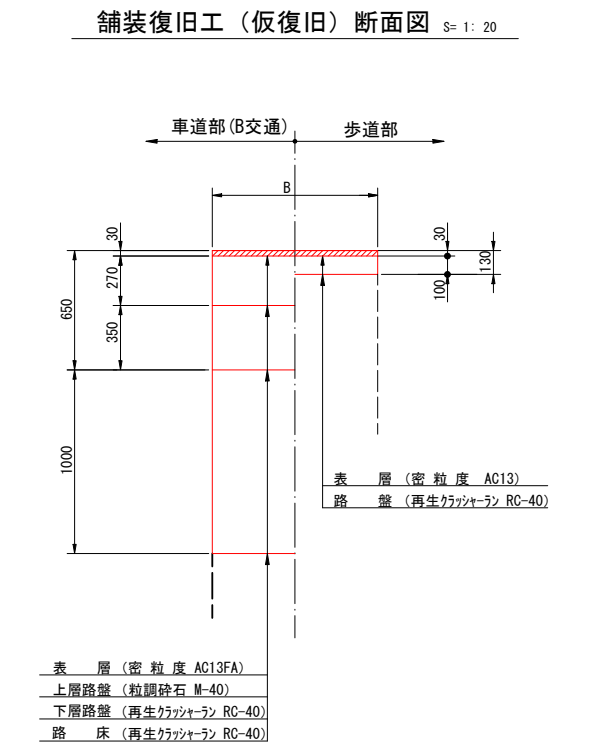
1007

名 称	算 式	数 量
c) 基面整正	$2.20 \times 3.20 = 7.04$	7.0 m ²
d) 埋戻材 (RC-40)	$2.00 \times 3.00 \times 0.10 = 0.60$	0.6 m ³
e) 埋戻工 (在来土)	$2.20 \times 3.20 \times (1.69 + 0.48) = 15.28$ マンホール控除 $1.05^2 \times \pi / 4 \times (1.69 + 0.48 - 0.20) = 1.70$ マンホール高調整砕石控除 $2.00 \times 3.00 \times 0.20 = 1.20$ $V = 15.28 - (1.70 + 1.20) = 12.38$	12.4 m ³
f) 路床工	$(2.20 \times 3.20 - 1.05^2 \times \pi / 4) \times 1.00 = 6.18$	6.2 m ³
g) 発生土処分工 (土砂)	予掘 $6.34 + 22.74 - 12.38 \times 1.11 = 15.34$	15.3 m ³
h) 発生土処分工 (Asガラ)	$7.04 \times 0.10 = 0.704$	0.70 m ³
(5) 舗装復旧工 旧B交通(仮復旧)	マンホール蓋控除 表層 (t=3cm) $7.04 - 0.82^2 \times \pi / 4 = 6.512$ 上層路盤 (t=27cm) $7.04 - 0.82^2 \times \pi / 4 = 6.512$ 下層路盤 (t=35cm) $7.04 - 0.82^2 \times \pi / 4 = 6.512$	6.51 m ² 6.51 m ² 6.51 m ²
(6) 継手 マンホール用可とう継手(VU用) φ150		2 個



【基準点一覧表】

点名	X座標	Y座標	標高	備考
3No. 3	71933.1120	-25354.8880	33.779	直接水準
ST.17	72058.2940	-25481.1230	32.973	間接標高
4-1 (SKBM. 20)	71545.0900	-24931.0190	35.426	直接水準、GNSS
4-2 (SKBM. 22)	71306.5700	-25516.7570	35.283	直接水準、GNSS
4-3 (SKBM. 21)	70829.7820	-24851.6840	37.566	直接水準、GNSS
ST. 1	72053.2478	-25423.2760	33.076	間接標高
ST. 2	72146.2350	-25234.8250	33.229	間接標高
ST. 3	71995.7164	-25159.7746	33.765	間接標高
ST. 4 (SKBM. 17)	71943.9791	-25121.5034	33.809	直接水準
ST. 5	71826.4523	-25298.9503	33.770	間接標高
ST. 6	71730.7122	-25248.5260	34.241	間接標高
ST. 7 (SKBM. 21)	71808.5858	-25042.8883	34.280	直接水準
ST. 8 (SKBM. 18)	71704.4685	-24986.3955	34.660	直接水準
ST. 9	71494.3495	-25038.5028	35.129	間接標高
ST. 10	71465.4314	-25120.4257	35.275	間接標高
ST. 11	71541.4433	-25151.8871	35.168	間接標高
ST. 12	71623.6165	-25192.3493	34.787	間接標高
ST. 13	71339.4960	-25068.6323	35.777	間接標高
ST. 14	71225.4921	-25021.5301	36.243	間接標高
ST. 15	71083.4634	-24963.4023	36.812	間接標高
ST. 16	70996.3016	-24925.8381	37.166	間接標高
ST. 17	70904.8014	-24885.8905	37.586	間接標高



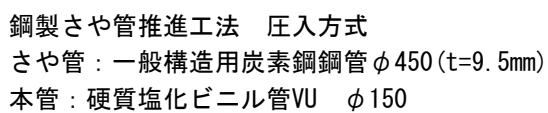
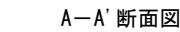
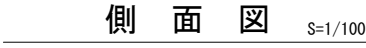
凡例

記号	名称
—●—	既設管路
—○—	計画管路
—○—	将来計画
●	1号マンホール
●	副管付マンホール
⊗	小口径マンホール
⊙	2号マンホール
Ⓟ	マンホールポンプ
○	汚水枡及取付管
○	管番号
○	管径・勾配・延長
—	水道管
—	N T T地下ケーブル
—	ガス管
—	流域下水道

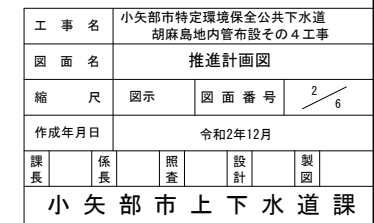
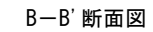
管記号表

1007		

工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地内管布設その4工事		
図面名	平面図・縦断面図 横断面図・舗装復旧工（仮復旧）断面図		
縮尺	図示	図面番号	1/6
作成年月日	令和2年12月		
課長	係長	照査	設計 製図
小矢部市上下水道課			

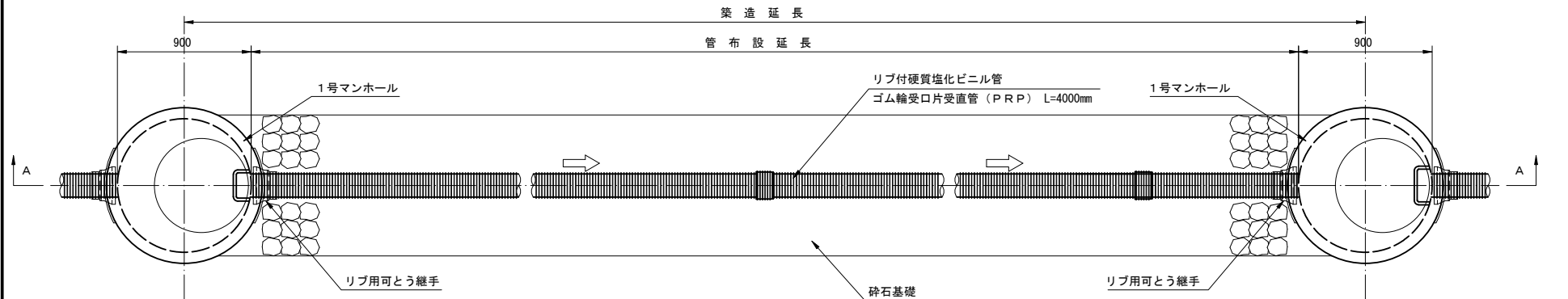


※埋設物は十分に調査し、立坑等に近接する部分については試掘等により確認すること。

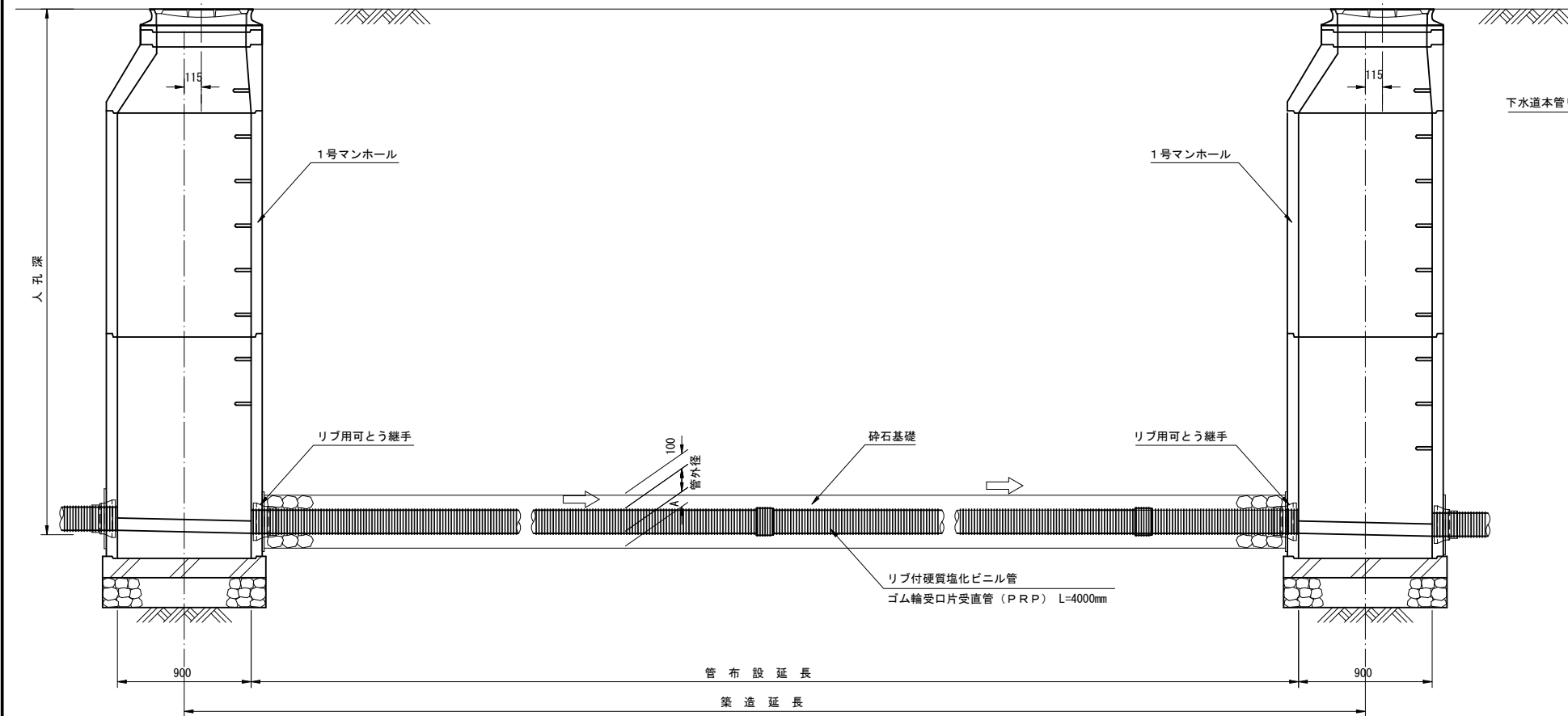


管渠標準配管図

(リブ付硬質塩化ビニル管)
平面図



A-A断面図

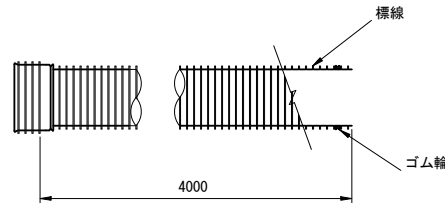


リブ付硬質塩化ビニル管寸法図

断面図



側面図



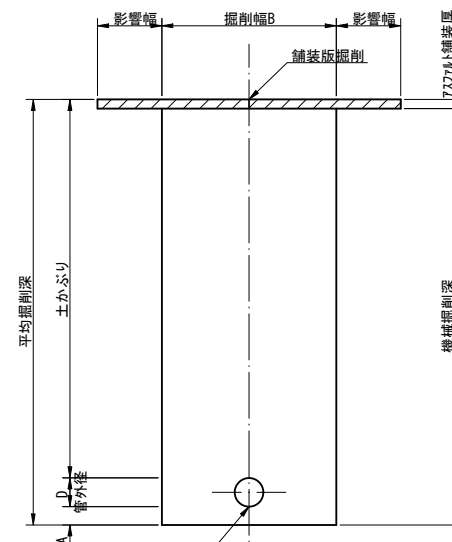
寸法表

(mm)					
記号	呼び径	DR	D	d	A
PRP	150	171.0	155.5	150	100
PRP	200	228.8	205.5	200	100
PRP	250	286.2	256.1	250	150
PRP	300	343.6	307.1	300	150

本管土工標準図

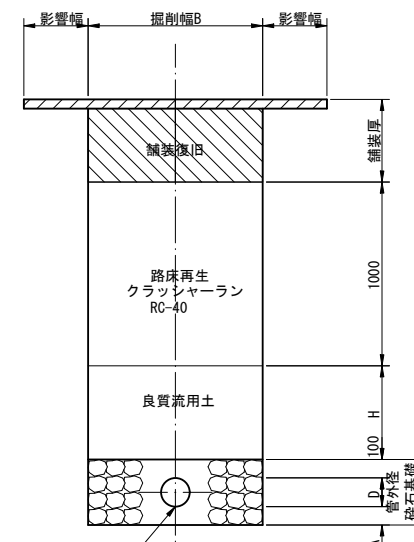
車道部

掘削形態



下水道本管リブ付硬質塩化ビニル管

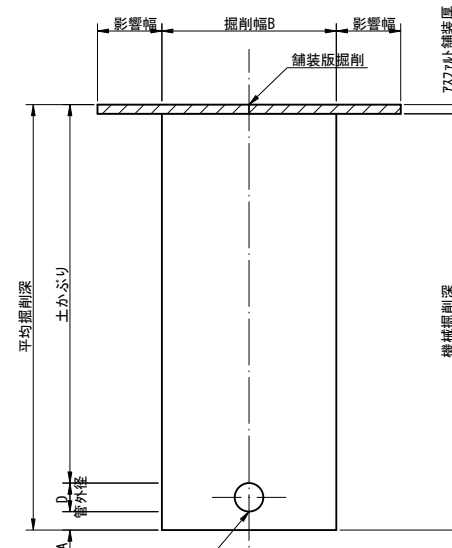
埋戻形態



下水道本管リブ付硬質塩化ビニル管

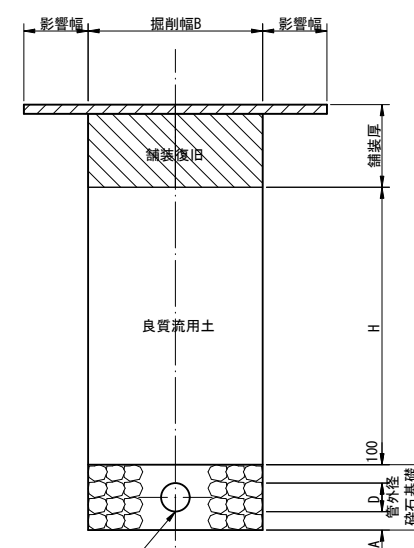
非車道部

掘削形態



下水道本管リブ付硬質塩化ビニル管

埋戻形態



下水道本管リブ付硬質塩化ビニル管

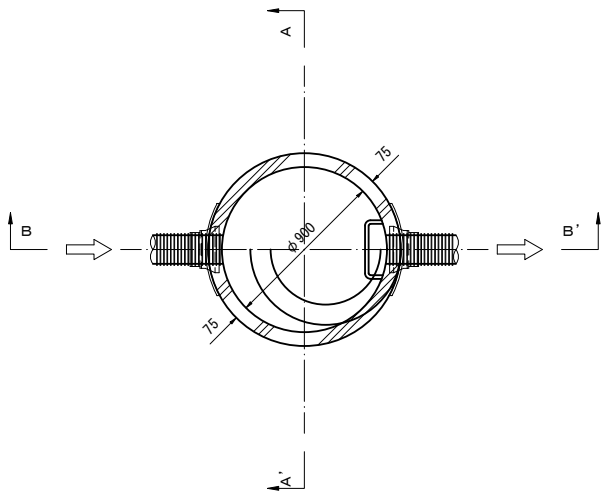
掘削幅寸法表 (B)

単位 (mm)			
管種	管径	掘削幅B	備考
PRP	150	950	
	200	1000	
	250	1050	
	300	1100	

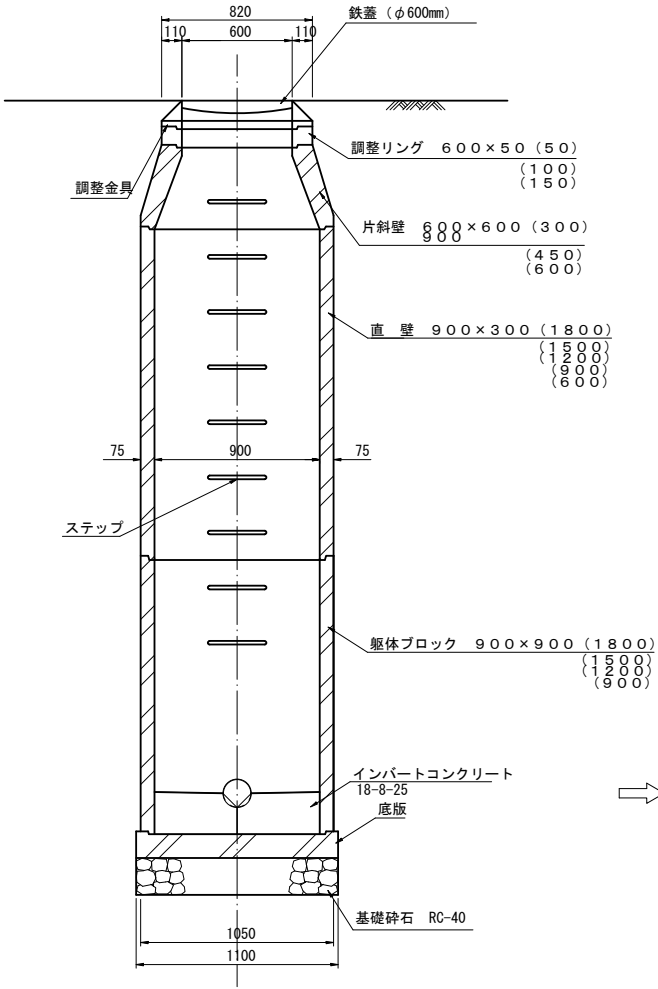
工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地内管布設その4工事				
図面名	管渠標準配管図・本管土工標準図				
縮尺	S=1:20	図面番号	3	6	
作成年月日	令和2年12月				
課長	係長	照査	設計	製図	
小矢部市上下水道課					

1号組立マンホール構造図

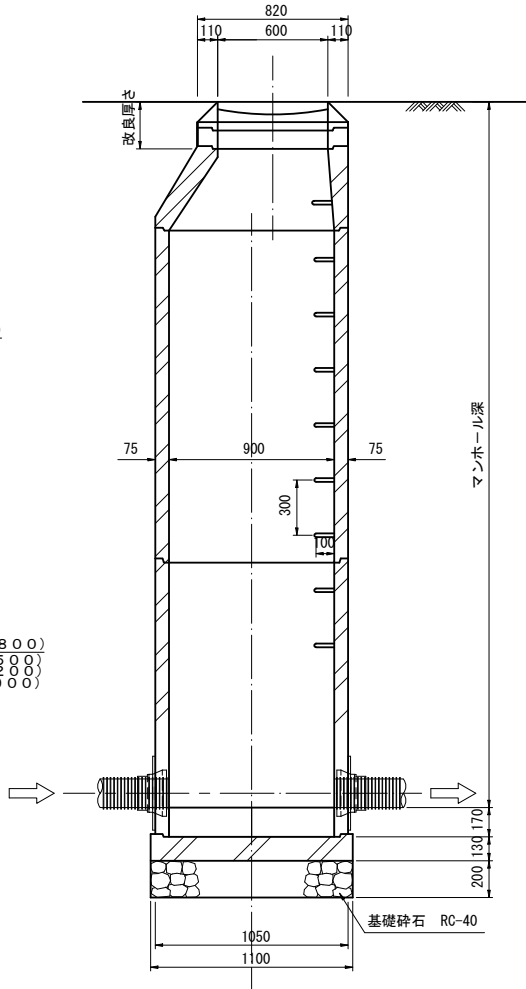
平面図



A-A' 断面図



B-B' 断面図



1号マンホール材料表

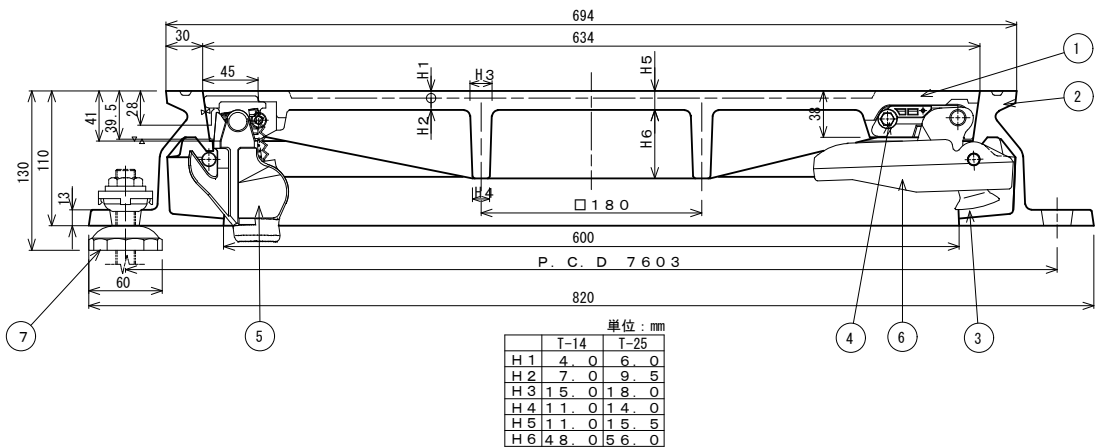
マンホール深 (m)	マンホール 底版深 (m)	蓋・蓋受 組	調整金具			調整リング			斜壁			直 壁						躯体ブロック				底版 13cm	備 考			
			25mm	45mm	5cm	10cm	15cm	30cm	45cm	60cm	30cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm					
1000	1300	1					1	1										1							1	
1050	1350	1			1				1									1							1	
1100	1400	1				1			1									1							1	
1150	1450	1					1		1									1							1	
1200	1500	1			1			1											1						1	
1250	1550	1				1		1										1							1	
1300	1600	1					1	1										1							1	
1350	1650	1			1				1									1							1	
1400	1700	1				1			1									1							1	
1450	1750	1					1		1									1							1	
1500	1800	1			1			1											1						1	
1550	1850	1				1		1											1						1	
1600	1900	1					1	1										1							1	
1650	1950	1			1				1										1						1	
1700	2000	1				1			1									1							1	
1750	2050	1					1		1										1						1	
1800	2100	1			1			1												1					1	
1850	2150	1				1		1													1				1	
1900	2200	1					1	1													1				1	
1950	2250	1			1				1												1				1	
2000	2300	1				1			1												1				1	
2050	2350	1					1		1													1			1	
2100	2400	1			1			1															1		1	
2150	2450	1				1		1																1	1	
2200	2500	1					1	1																1	1	
2250	2550	1			1				1															1	1	
2300	2600	1				1		1																1	1	
2350	2650	1					1	1																1	1	
2400	2700	1			1					1														1	1	
2450	2750	1				1					1													1	1	
2500	2800	1					1	1					1										1		1	
2550	2850	1			1				1				1											1	1	
2600	2900	1				1		1					1											1	1	
2650	2950	1					1	1					1								1				1	
2700	3000	1			1			1						1							1				1	
2750	3050	1				1		1						1							1				1	
2800	3100	1					1	1					1											1	1	
2850	3150	1			1				1				1											1	1	
2900	3200	1				1			1				1											1	1	
2950	3250	1					1		1				1											1	1	
3000	3300	1			1			1						1										1	1	
3050	3350	1				1		1						1										1	1	
3100	3400	1					1	1						1										1	1	
3150	3450	1			1				1					1										1	1	
3200	3500	1				1			1					1										1	1	
3250	3550	1					1		1					1											1	1
3300	3600	1			1			1						1										1	1	
3350	3650	1				1		1						1										1	1	
3400	3700	1					1	1						1										1	1	
3450	3750	1			1				1					1										1	1	
3500	3800	1				1			1					1										1	1	
3550	3850	1					1		1					1										1	1	
3600	3900	1			1			1							1									1	1	
3650	3950	1				1		1							1									1	1	
3700	4000	1					1	1							1									1	1	
3750	4050	1			1				1						1									1	1	
3800	4100	1				1			1						1									1	1	
3850	4150	1					1		1						1									1	1	
3900	4200	1			1			1								1								1	1	
3950	4250	1				1		1								1								1	1	
4000	4300	1					1	1								1								1	1	
4050	4350	1			1				1							1								1	1	
4100	4400	1				1			1							1								1	1	
4150	4450	1					1		1							1								1	1	
4200	4500	1			1					1							1							1	1	
4250	4550	1				1				1							1							1	1	
4300	4600	1					1	1					1			1								1	1	
4350	4650	1			1				1				1				1							1	1	
4400	4700	1				1			1				1				1							1	1	
4450	4750	1					1		1					1	1									1	1	
4500	4800	1			1			1							2									1	1	

工 事 名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地内管布設その4工事				
図 面 名	1号組立マンホール構造図				
縮 尺	S=1 : 20	図面番号	4	6	
作成年月日	令和2年12月				
課長	係長	照査	設計	製図	
小 矢 部 市 上 下 水 道 課					

マンホール蓋構造図（参考図）

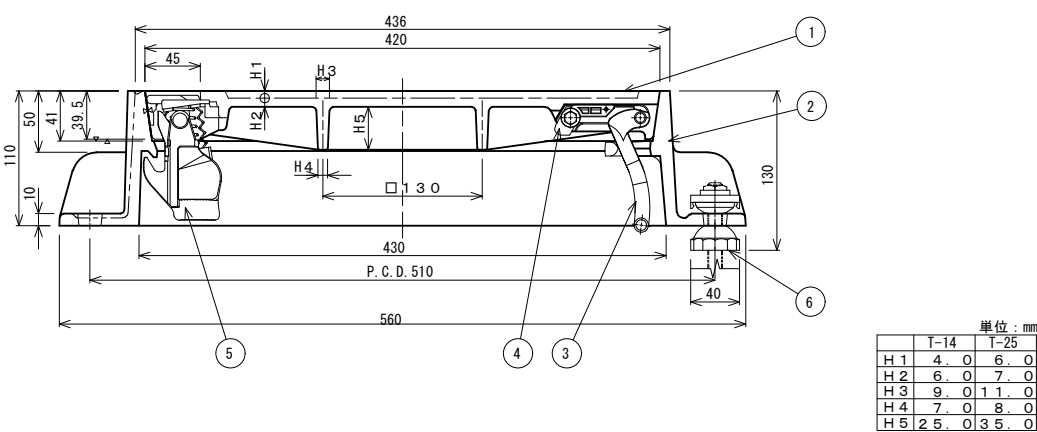
1号マンホール

カバー、フレーム断面図



小口径マンホール

カバー、フレーム断面図



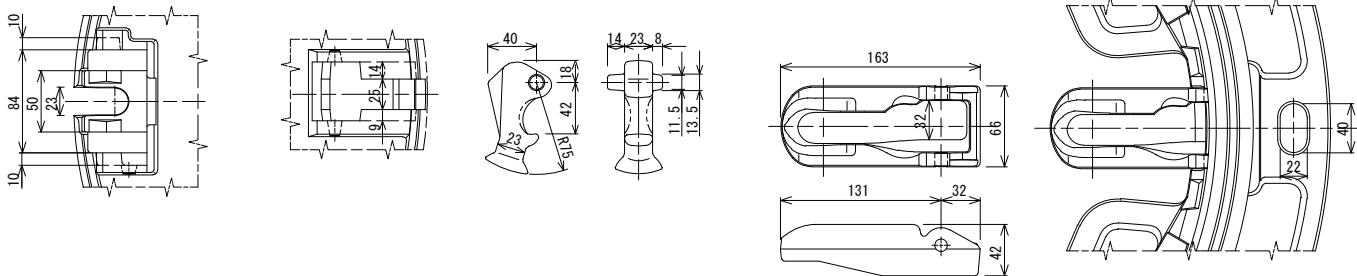
シールロック取付座詳細図

コネクタ 取付座詳細図

③ コネクタ 詳細図

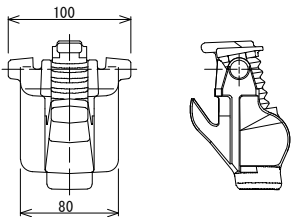
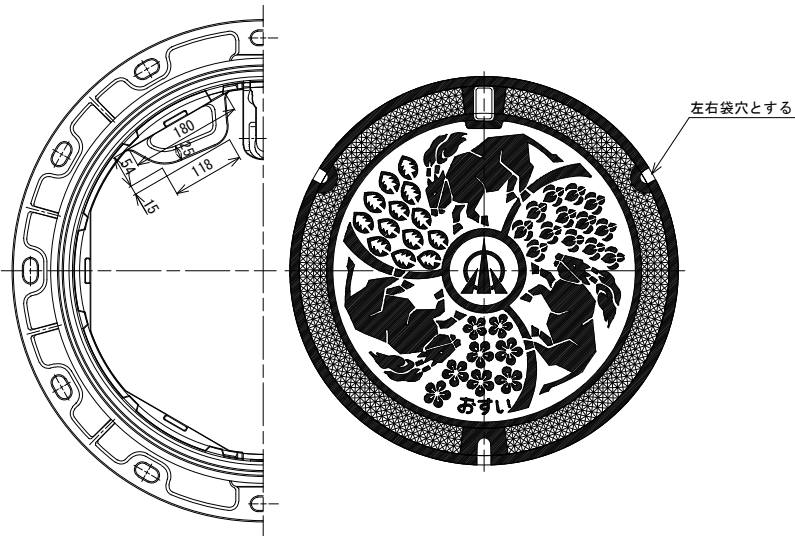
⑥ コネクタ ガイド詳細図

フレーム、コネクタ ガイド取付詳細図



② フレーム平面図

① カバー平面図



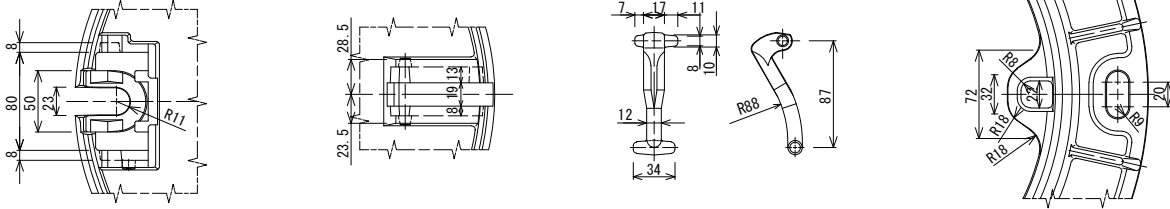
1	カバー（面）	FCD700	1	
2	フレーム（面）	FCD600	1	
3	コネクタ（面）	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	※ 別ト・Uサット
5	シールロック	FCD600地	1	※ 別ト・Uサット
6	コネクタガイド	FCD600	1	取付部品
7	フレームガイド	※ 別ト・Uサット	3	

シールロック取付座詳細図

コネクタ 取付座詳細図

③ コネクタ 詳細図

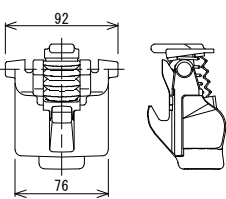
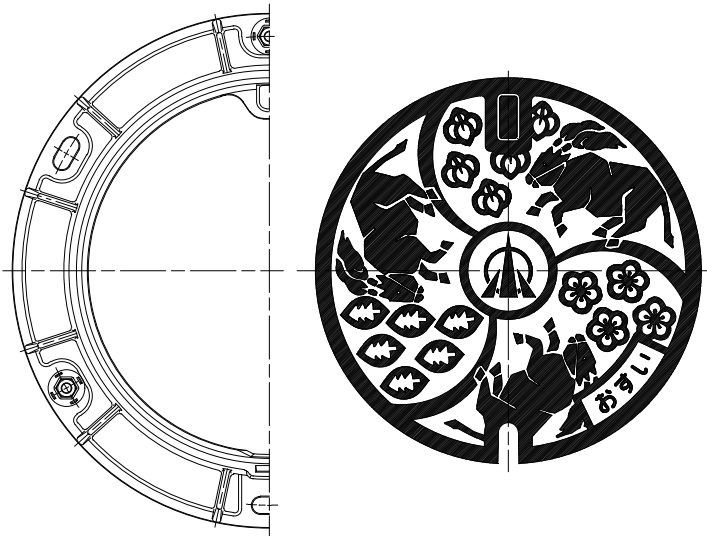
コネクタ 受け部詳細図



② フレーム平面図

① カバー平面図

⑤ シールロック詳細図



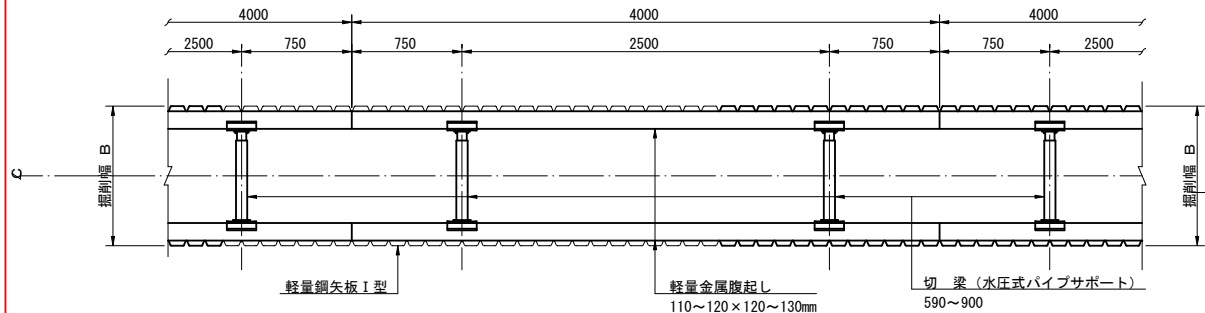
1	カバー（面）	FCD700	1	
2	フレーム（面）	FCD600	1	
3	コネクタ（面）	FCD600	1	
4	ストッパ	ナイロン	1	※ 別ト・Uサット
5	シールロック	FCD600地	1	
6	フレームガイド	※ 別ト・Uサット	3	

工事名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地内管布設その4工事				
図面名	マンホール蓋構造図（参考図）				
縮尺	S=1:3	図面番号	5	6	
作成年月日	令和2年12月				
課長	係長	照査	設計	製図	
小矢部市上下水道課					

軽量鋼矢板建込工標準図

平面図

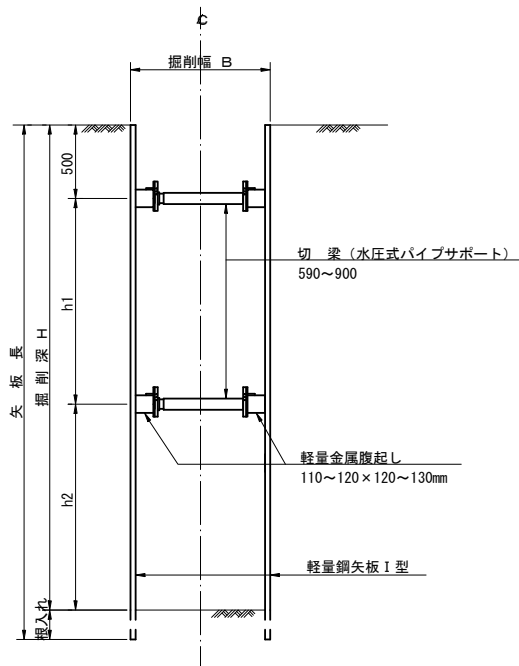
(掘削深 2.5m<H≤3.8m)



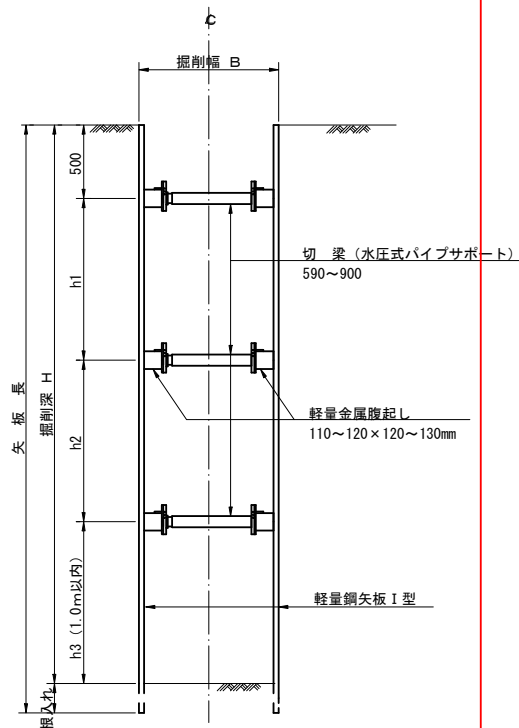
断面図

(掘削深 2.5m<H≤3.8m)

(切梁数2段)
(掘削深 2.5m<H≤3.15m)



(切梁数3段)
(掘削深 3.15m<H≤3.8m)

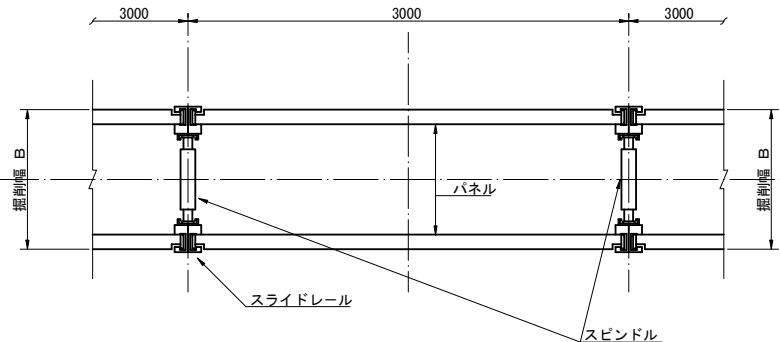


※注 1. 最小根入れ長は、20cm以上確保すること。
2. h1とh2の寸法は、おおむねh1=h2程度に確保すること。

建込簡易土留工標準図

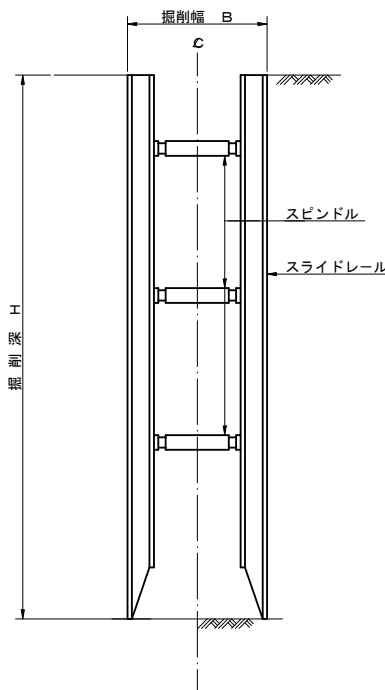
平面図

(掘削深 1.5m≤H≤2.5m, 3.8m<H<5.0m)



断面図

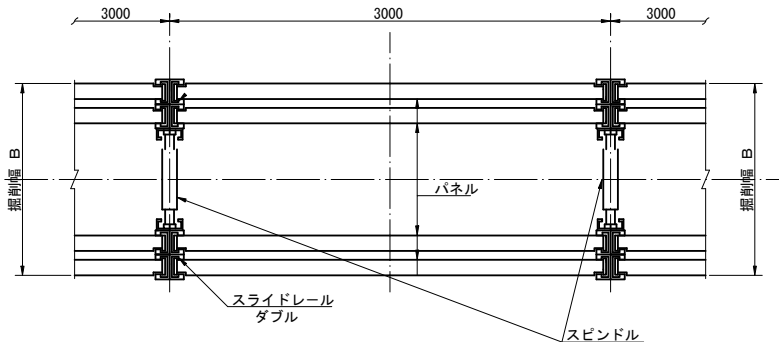
(掘削深 1.5m≤H≤2.5m, 3.8m<H<5.0m)



平面図

(掘削深 5.0m≤H≤6.0m)

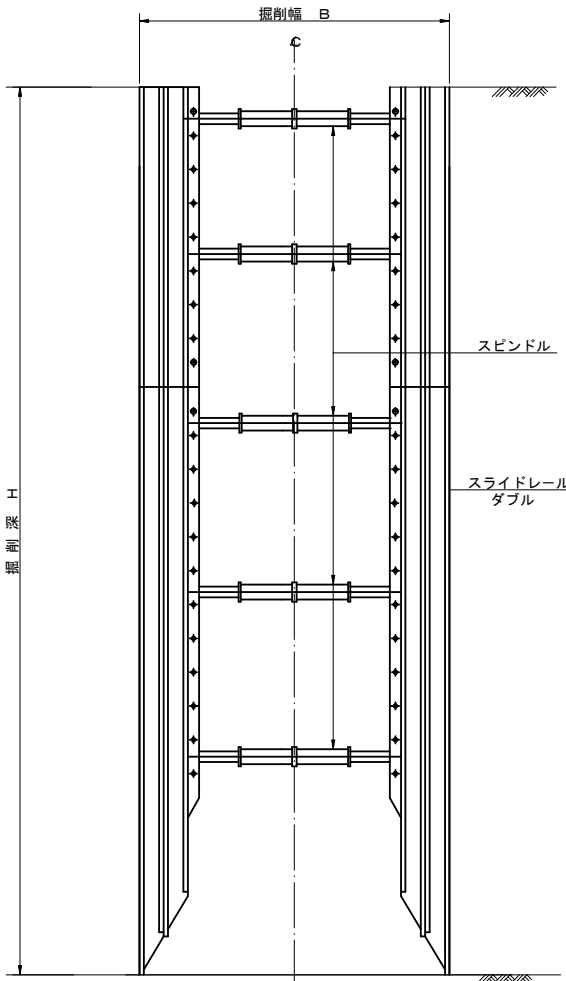
注) パネルは、断面係数255cm³/mを使用すること。



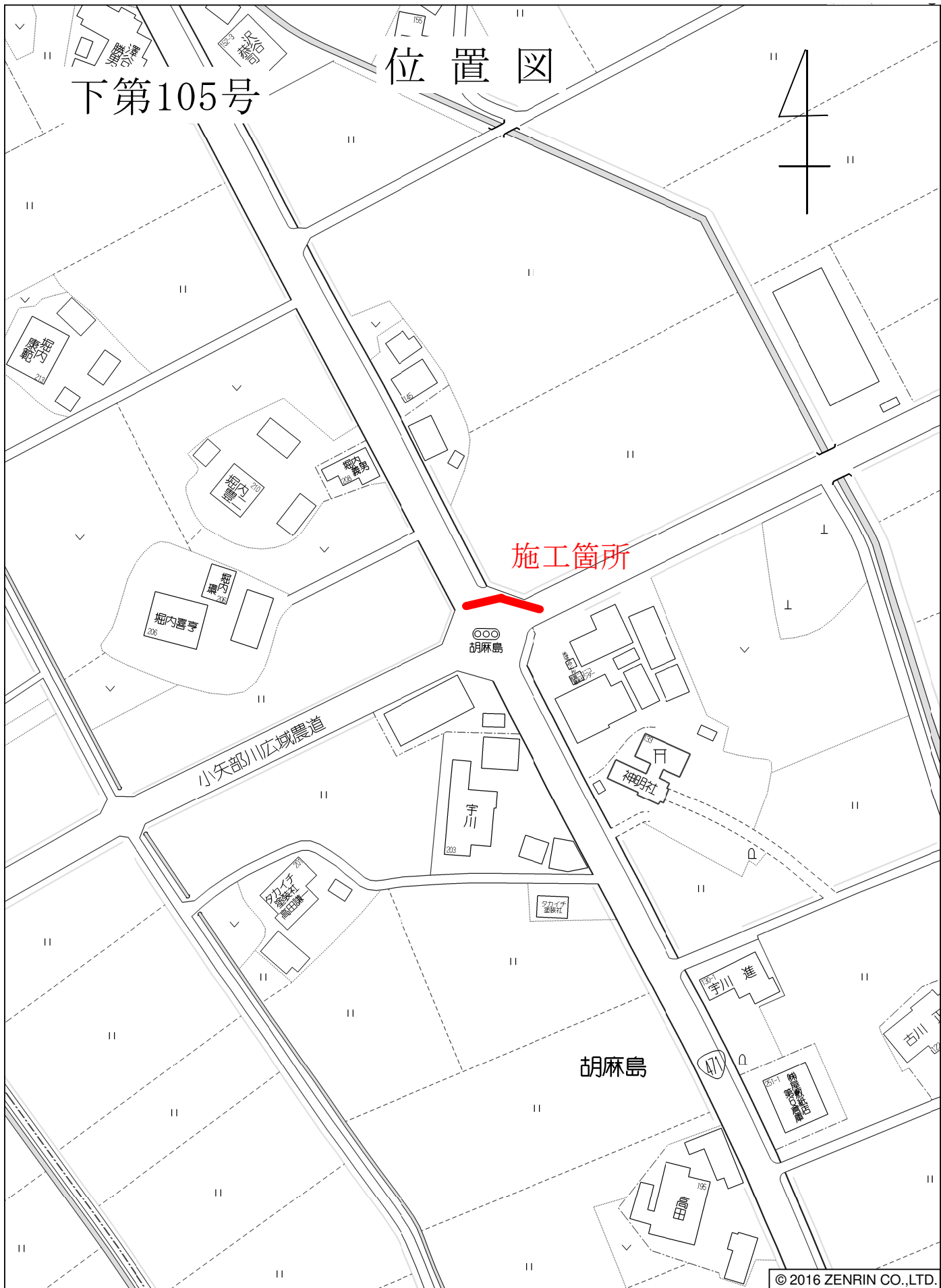
断面図

(掘削深 5.0m≤H≤6.0m)

注) パネルは、断面係数255cm³/mを使用すること。



工 事 名	小矢部市特定環境保全公共下水道 胡麻島地内管布設その4工事				
図 面 名	軽量鋼矢板建込工標準図 建込簡易土留工標準図				
縮 尺	S=1:25	図面番号	6	6	
作成年月日	令和2年12月				
課 長	係 長	照 査	設 計	製 図	
小 矢 部 市 上 下 水 道 課					



小矢部市胡麻島付近

縮尺 1 / 1,500 45m